

豊明市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会  
会議録

日時：平成29年7月19日（水）15：00～17：30

会場：豊明市役所 第1委員会室

1. あいさつ

（司会）

本日は、中日新聞の田畑委員が欠席、また、学校法人藤田学園 星長委員の代理で都築様、名古屋鉄道株式会社 三好委員の代理で片野様にご出席をいただいている。

<配付資料確認>

前回から期間も空き、新たな委員もいるので、簡単に自己紹介をいただきたい。

<各委員 自己紹介>

ありがとうございました。

- ・変更のあった委員の方には、本来であれば一人ずつ委嘱状を交付するところだが、机上配布としたので確認していただきたい。任期は前任の委員の残任期間となるので、全委員平成30年6月29日までとなる。

市の職員を紹介する。

<職員 自己紹介>

開会にあたり、小川委員長より挨拶をいただきたい。

（小川委員長）

お久しぶりです。

今までの総合戦略推進委員会では活発なご意見をありがとうございました。それを基にして、豊明市では非常に意欲的な施策を作ってきた。今日はそれがどれくらい実現しているのか、成果を伺っていききたい。委員も半分ほど交代しているので、リフレッシュして新しい意見や今後の展開について意見をいただきたい。よろしくをお願いします。

（小浮市長）

こんにちは。

豊明市には花き市場があり、以前は商工会が「花の街とよあけ」事業を実施していた。次の段階である商品化は、総合戦略の花マルシェ事業の中で進められている事項である。この成果品としてアイシングクッキーなどがある。総合戦略については平成27年度に集中的に議論し、それから1年半ほど経っている。KPIとして成果も出てきているので、みなさまから忌憚のないご意見をいただきながら進めていきたいと思っている。よろしくをお願いします。

(小川委員長)

まずはじめに、傍聴の確認を行う。前回と同様、机上配布した公開の要領に基づき進めていく。事務局より説明を求める。

(事務局)

<「豊明市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会の公開に関する取り扱い要領」の説明>

本日の推進委員会の傍聴者数を5名とする。1名の方がお越しである。

(小川委員長)

何か質問、意見はございませんか。

<質問、意見なし>

ないようですので、本日の傍聴者数を1名とすることとしてよろしいか。

<異議なし>

(小川委員長)

それでは傍聴人に入場していただきます。

<傍聴者入室>

## 2. 議題

(小川委員長)

それでは議題に入る。議題(1)及び(2)については関連があるので、一括して事務局より説明をお願いしたい。

(事務局)

<議題(1)「総合戦略の役割と位置づけ」、(2)「総合戦略の進行管理」について、資料p.1~2と別紙1に基づいて説明>

(小川委員長)

ただいまの件で、ご意見やご質問はありませんか。

<意見・質問なし>

(小川委員長)

次に議題（３）について、事務局から説明をお願いしたい。

(事務局)

<議題（３）「事業の展開状況」について、資料 p.3 と別紙 2・3 に基づいて説明（桶狭間関連の動画を含む）>

(小川委員長)

- ・今まで取り組んできた桶狭間古戦場、豊明団地での事業などは発展しており、新規の地域ブランド“とよあけ花マルシェ”推進事業等も展開されていることが分かった。数字の評価だけでなく、数字に表れないような、参加者の感想や人の集まりということについての市で蓄積された経験についてもみていただきたい。現在、２年間ほど事業に取り組み、成果が出始めている頃ではないか。これがどのように横につながっていくか、及び展開していくかを考えていくべきであると思う。
- ・質問や提案はないか。

(牧原委員)

平成 29 年 2 月 21 日に市内金融機関で豊明市金融懇談会を結成し、同日、産業振興の分野などで市と包括協定を締結した。各金融機関で地方創生の事業を行っているところだが、この取組について豊明市ホームページ上にリンクを貼ることは可能か。市民にも関連する取組を知ってもらう機会となればと思う。

(行政経営部長)

各金融機関の地方創生の取組であれば、市のホームページにリンクを貼ることが可能であると思う。

(根尾委員)

別紙 3 の（評価認識）の桶狭間古戦場まつりに係るワークショップを担当している。そのワークショップで出た意見がまとめられていることは知っているが、その意見がどのように具現化されたか分からない状況である。イベントを計画・実施するのは良いが、そこからさらに、発展、継続性のあるものにしてほしい。

(小浮市長)

桶狭間古戦場伝説地にはガイドボランティアがいるが、同時に桜花学園の学生がいるので、観光客が話しかけやすい雰囲気を作ってくれている。また、今年度、桜花学園大学で開催した桶狭間シンポジウムでも、多くの学生が協力してくれた。いくつかの部分で意見を活かして、実践できているものもあると思うし、まだまだの部分もあると思う。どこかのタイミングで、桜花学園が主体となっているところと、ガイドボランティアや甲冑同好会が中心となっている部分について、この 3 者と市で協議を行い現時点での中間報告のようなことを行えばと思う。

(岩田委員)

- ・数値としても実績が上がってきていると感じた。
- ・地方創生加速化交付金の対象となっている桶狭間古戦場まつりについてだが、このようなイベント事業は今後はどうつなげるかが大事である。来場者数がK P Iとなっているが、その後どう市にお金を落としてもらうかを考えてほしい。
- ・地方創生推進交付金の対象となっている花マルシェ事業は、今後積み上げていく事業だと思う。継続していくような工夫をしてほしい。
- ・市ホームページのトップにも事業者向けのページができており、以前より改善されていて良いと思う。地域活性化推進室での「企業立地に係るワンストップ相談窓口制度」は非常に有効であり、全国的にこのような部署がある自治体に企業から問い合わせがくると聞いている。制度創設についてホームページの新着情報に記載されているがいずれ隠れてしまうので、企業がいつでもすぐにアクセスできるように掲載してはどうか。
- ・企業立地支援事業について、スケジュールを教えてください。

(経済建設部長)

企業立地支援事業について、別紙5を参照していただきたい。柿ノ木地区は昨年から説明会を開催している。県等との協議も進めていて、範囲を拡大してはどうかというアドバイスももらっている。今週末にその拡大地域も含めて地権者に説明をする予定である。豊山については、今秋までには地権者説明を行う予定である。

(小川委員長)

地元にとれくらいお金が落ちるのかというのほどのように検討しているか。

(小浮市長)

商工会が実施していた「花の街とよあけ」事業があった。市内には花き市場があるが、卸売市場であるため、いまいち馴染みがなかった。その「花の街とよあけ」事業が花マルシェ事業に移行するとき、市内飲食店や和菓子屋、洋菓子店から市の方に、自主的にエディブルフラワーの商品化を進めているという話があり、総合戦略の事業に組み込んだ。市としては各店舗の意欲を汲み取って、取り組みを後押しする形をとっている。別紙3に販売金額の累計とあるが、花マルシェ事業の一部の商品はふるさと納税のお礼の品となっている。安定して供給できる商品を増やし、ふるさと納税とリンクさせて豊明市全体のブランドも上げていけば、最終的には各店舗の売り上げに貢献できると考えている。これと平行して花関連のイベントを開催して各店舗と市のブランドを上げていきたい。

現在、J Aで花を生産している方に、実験的にエディブルフラワーを生産していただいている状況である。最終的には市内の花生産者の花を各店舗が商品に利用して、それをふるさと納税のお礼の品とし、そのリピーターを増やし、豊明市には花関連の商品があると意識付け、各店舗にお金が落ちる形を目指している。

(小川委員長)

- ・花マルシェ事業に関して、別紙3の平成28年の目標に商品開発に向けたデザインの支



援とあるが、市内で依頼しているのか。

- ・住宅リフォームとあるが、これは市内の事業所が請け負うのか。

(企画政策課長補佐)

- ・花マルシェ事業については、実行委員会があり、市内事業者を中心に構成されている。よって、市内の中で事業が進んでいる。
- ・住宅リフォームについては、この事業自体に市内業者という要件はない。ただし、別紙4『事業者支援ガイド』の p.3「豊明市店舗等水まわり改修工事費補助金」事業では施工業者は市内の業者としており、市内で経済が回るようになっている。

(牧原委員)

市内業者を訪問していても、まだ効果は見えない。ただし、事業としてはいいことなので、今度に期待したいという声は聞く。皆で盛り上げていこうという意見もある。

(酒井委員)

- ・企業立地支援事業について新規立地企業はどこにどんな会社きたのか。
- ・曹源寺で開催される大根祭りは、前後駅から多くの方が往来し賑わっている。事業タイアップは考えているか。前後駅前での軽トラ市などが考えられると思う。

(経済建設部長)

新規立地企業7社について、自動車内装部品の製造業1社、機械設計の製作が2社、物流業1社、ダイレクトメールの発送業1社等である。

(副市長)

軽トラ市は実行委員会が主催であることと、曹源寺が宗教法人であることからタイアップは難しい。ただし、曹源寺が駅前で開催している市の事業に参加する形であれば、可能性はあるかもしれない。

(小川委員長)

曹源寺については桶狭間古戦場観光関連事業になると考えられるが、このような提案があった場合に、この総合戦略に新規に追加することができるか。

(企画政策課長補佐)

総合戦略は63事業が設定されており、その中には計画に具体的に書いてない事業だが計画実現に貢献するものとして実施している事業もある。総合戦略実現に必要なものであれば、実施可能だと思う。

(近藤恵子委員)

- ・企業立地支援事業については良いと思うが、事業展開の手ごたえはあるか。
- ・別紙2「住居系市街地の整備促進事業」のKPIである前後駅周辺の居住人口について

は予定よりも早く達成しているが、理由はあるのか。もう少し目標を上げられるのか。

- ・レンタサイクルに関しては、誰を対象に考えているのか。地形や立地を考えると、前後駅ではなく桶狭間古戦場に行くことを想定し、中京競馬場前駅で借りて、その後、他のところで乗り捨てなどできると良いと思う。
- ・花マルシェについては、ポイント集めのイベントは市民へのPRに有効だと思う。もっと市民へPRできる余地があるのではないか。商工会館で開催された花マルシェイベントは、会議室で開催するよりも、屋外など花の似合う施設で開催した方が良いと思う。

(経済建設部長)

- ・前後駅周辺の居住人口の増加については、マンション新設によるものである。
- ・レンタサイクルについては電動アシスト付自転車も導入している。現在は前後駅に設置しているが、中京競馬場前駅や桶狭間古戦場周辺に設置することも検討している。
- ・花マルシェイベントの会場については、今後の課題である。
- ・企業立地支援事業の手ごたえについては、場所の選定について、どこを提供してもらうかなど、今後の検討課題である。
- ・花マルシェのスタンプラリーについては、検討の余地がある。

(鈴木委員)

花マルシェや桶狭間関連イベントは、まだ市外にPRできていないと感じられる。例えば瀬戸市のせともの祭や長久手市の長久手古戦場桜まつりは市外でも聞くが、豊明市のイベントはあまり聞かない。イベント時にアンケートをとって、どのような方法でイベントを知ったか聞いてみてはどうか。

(企画政策課長補佐)

現在でも、イベント時にはアンケートを実施している。

(小川委員長)

その結果は公表されているのか。

(企画政策課長補佐)

恐らくされていない。

(鈴木委員)

報告よりも、その結果を次に活かしてもらえば良いと思う。そのために、こういう会議の場を利用してはどうか。

(星長委員(代理 都築氏))

策定時に話があったと思うが、PDCAを回しながらプランの練り直しは可能なのか。総合戦略の項目ではなく、それにぶら下がるデータの調査などは変更できるか。

(企画政策課長)

必要があれば変更可能である。現時点では1年間事業を実施したところなので、すぐに修正は行う予定がないが、必要に応じて修正する。データの調査は変更できる。

(星長委員 (代理 都築氏))

安心して子育て・介護ができるまちづくりが必要であると考えている。どのような事業展開が必要かということ話し合う場が少ないと感じる。

(水野委員)

- ・同居・近居の事業などは、目標値を上回っており、市町村らしい施策だと思う。先ほどから総合戦略自体の見直しか、それにぶら下がる事業で整理するかという話があるが、県の総合戦略については、既に目標を上回ったもののみ目標値を見直す等簡易な方法で改訂を行った。ホームページを参考にしてほしい。
- ・県では新規で「愛知の住みやすさ発信事業」を実施する。現在、愛知県では女性の首都圏への流出が問題である。市町村の取組と連携して事業展開していきたいと思っているので、ご協力いただきたい。
- ・県の人口動向について、厚生労働省の調査では愛知県も自然減に転じている。総合戦略の実施期間は5年間であり、中間年に差し掛かっている。豊明市の人口動向を確認したうえで、有効な戦略を考えてほしい。次回は人口動向に関するデータも提示してほしい。

(清水委員)

63事業あり、とても決め細やかな事業だと思う。目標値を上回っているものもある。中京競馬場は不特定多数の人が訪れる施設なので、桶狭間古戦場関連事業や花マルシェ事業のPRに利用していただきたい。

(田代委員)

賃貸住宅を管理しているが、入居者募集に当たって同居・近居の割引制度を導入するなどして、ミクストコミュニティを標榜しているところ。豊明団地のけやきいきいプロジェクトでも、これまで以上に様々な活用をしていただけるよう集会所を大幅にリニューアルした。まだ小さな一歩ではあるが、藤田学園と市とどのように事業展開していくかを考えていきたい。

(三好委員 (代理 片野氏))

人口の増加に向けた取組みや賑わいの創出には非常に興味がある。前後駅前のイベントが話の中心に上がっていたが、豊明駅についてはどう考えているか。

(酒井委員)

商工会が「花の街とよあけ」事業を展開していた頃、豊明駅周辺に電車からも見えるような花を飾ってPRしてはどうかという案が出ていた。ただし、線路へ花を投げ込んでし

もう可能性があるということで、課題となっていた。

(小野村委員)

ホシザキ(株)は桶狭間古戦場伝説地の近くにある。先ほど近藤委員から花関連イベントの会場について話があったが、社内には広大な芝生や城等があるため、社員の意識を高めて市の事業に貢献していきたい。

(近藤明委員)

- ・No.12 新規就農者の受入れ事業について、課題となるのは施設や機具の購入である。本来であれば、農協が手配するべきだが、農機具バンクなどを作ってもらえると、新規就農者が増えるのではないか。
- ・花マルシェ事業では、市の協力も得ながら、農協職員も取組みに参加している。目標値としては平成29年実績の約100倍を目指さなければならない。農協としても、市の協力もいただきながら、一生懸命取り組んでいきたい。
- ・企業立地支援事業については、農家としては歓迎する人も多い。ただし、農業を営みたい農家もいるし、大雨時のダム機能の低下も看過できない。農家とよく協議してほしい。

(小川委員長)

議題(4)について、事務局から説明をお願いしたい。

(事務局)

<議題(4)「今後について」について資料 p.3 に基づいて説明>

- ・委員の任期だが、平成30年6月29日までである。
- ・今後も年1回程度、総合戦略の推進や報告、必要に応じて承認をお願いしていきたい。先ほどご意見としてもいただいたが、連携に関する話合いの場を随時設ける必要はあると思うが、実績報告としては毎年今回と同じ頃を予定している。したがって、国から新たな計画の策定要請などがなければ、このメンバーで開催する委員会は恐らく最後になると思われる。
- ・総合戦略策定時には15名で構成した本委員会だが、今後は規模を縮小し、KPIを始めとした進行管理の段階に合わせた事業の最適化を目指していきたいと思う。再度委員を依頼した際には、ご協力をいただきたい。

(小川委員長)

ただいまの件で、ご意見やご質問はありませんか。

<意見・質問なし>

(小川委員長)

これで本議題は終了となる。

次の3. その他について、事務局から連絡事項はありますか。

(事務局)

- ・事務局からは特にない。

(小川委員長)

本日の議事は終了しましたので、事務局にお返しします。

(事務局)

最後に、市長より委員の皆様へ委員会への協力についてお礼申し上げます。

(小浮市長)

- ・いただいた意見の中ですぐに実行できるものはすぐに取り組んでいく。
- ・各事業体系を見直す点等については、桜花学園と藤田学園を含めて事業体系ごとに関係課等と引き続き協議をしていきたい。
- ・その他、お気づきの点やご提案は私か担当課にご連絡いただきたい。

以上

# 平成 29 年度豊明市まち・ひと・しごと 創生総合戦略推進委員会 次第

日時 平成29年7月19日(水)  
午後3時～5時  
会場 豊明市役所 第1委員会室

## 1. 挨拶

## 2. 議題

- |     |              |              |
|-----|--------------|--------------|
| (1) | 総合戦略の役割と位置づけ | P1<br>別紙 1   |
| (2) | 総合戦略の進行管理    | P2           |
| (3) | 事業の展開状況      | P3<br>別紙 2・3 |
| (4) | 今後について       |              |

## 3. その他

### 配布資料

- |      |   |
|------|---|
| 別紙 1 | 地方創生関係交付金の概要  |
| 別紙 2 | 『「まち・ひと・しごと創生総合戦略」関係事業』 主な事業など  |
| 別紙 3 | 『「地方創生加速化交付金」(桶狭間古戦場観光活性化推進事業)』<br>『「地方創生推進交付金」(地域ブランド”とよあけ花マルシェ”推進事業)』 |
| 別紙 4 | 豊明市事業者支援ガイド   |
| 別紙 5 | 豊明市市街地整備関連事業箇所図   |
| 別紙 6 | 豊明団地「けやきいきいきプロジェクト」の取組み   |

豊明市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会 委員一覧

属 性		氏 名	役職等
1	あいち尾東農業協同組合	近藤 明	豊明基幹支店長
2	豊明市商工会	酒井 克俊	副会長
3	ホシザキ株式会社	小野村 有益	総務課長
4	名古屋鉄道株式会社	三好 学	営業部業務課 課長補佐
5	独立行政法人都市再生機構 中部支社	田代 真琴	住宅経営部長
6	日本中央競馬会 中京競馬場	清水 靖博	中京競馬場場長
7	経済産業省中部経済産業局	岩田 則子	産業部次長
8	愛知県政策企画局	水野 達也	企画課長
9	学校法人藤田学園	星長 清隆	専務理事・学長
10	学校法人桜花学園	根尾 文彦	桜花学園大学教授
11	国立大学法人愛知教育大学	小川 正光	名誉教授
12	豊明金融懇談会	牧原 博志	株式会社名古屋銀行 豊明支店長
13	連合愛知尾張東地域協議会	鈴木 剛	副代表
14	株式会社中日新聞社(中日スポーツ)	田畑 皆彦	レース部長
15	市民公募	近藤 恵子	

平成29年7月現在

## (1) 総合戦略の役割と位置づけ

人口急減、少子化、高齢化に備えるための平成 31 年度までの短期間に出来ることを取り組んでいくもので、計画は2つからなっています。1つ目は人口ビジョンで、目指すべき将来の方向や人口の将来展望を示しています。2つ目は、平成 31 年度までに取り組む5年間の目標や具体的な施策をまとめた事業計画部分です。この施策の推進のため国も地方創生推進交付金を用意し、地方自治体の取り組みを支援しています。

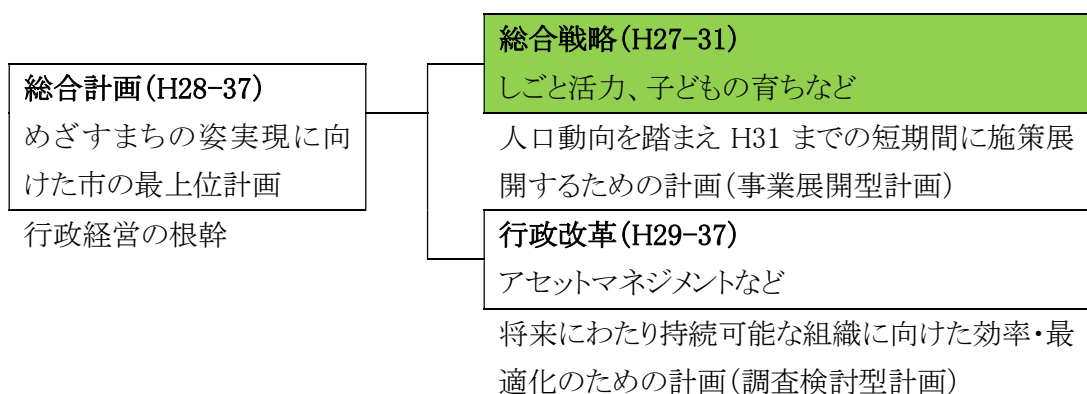
つまり、総合戦略は、豊明市が将来の課題を踏まえつつ、そのために(平成 31 年度までという短期間の)今、必要かつ実施可能な事業をしっかりと行っていくことを推進するための役割を持つ計画です。

他の主要計画との関連から位置づけを言えば、以下のような役割分担となります。

- ・**総合計画**は、市全体の取り組みを「めざすまちの姿」に向けて行政経営の視点で進めていくという**最上位計画**。
- ・**総合戦略**は、将来的な人口ビジョンを示し、平成 31 年度までに取り組むべきもの、つまり**短期的に取り組むべき(新規)施策を行うための事業展開型の計画**。
- ・**行政改革**は、行政の効率化と適正化を維持するため、アセットマネジメントをはじめとする**長期的な効率適正に向けた検討・取組を行うための調査、検討、評価を主体とした計画**。

3つの計画で豊明市の行政経営のエンジンとし、短期的にも新規施策を展開し、長期的な効率・適正に向けた検討も進めていきます。

図1 主要3計画の関係



そのため、本委員会は、この総合戦略の進行管理を行うために開催するものです。



## (2) 総合戦略の進行管理

現時点で、豊明市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進本部会議及び委員会の進行管理すべき事業群は以下の3つです。

表1 まち・ひと・しごと関係事業群

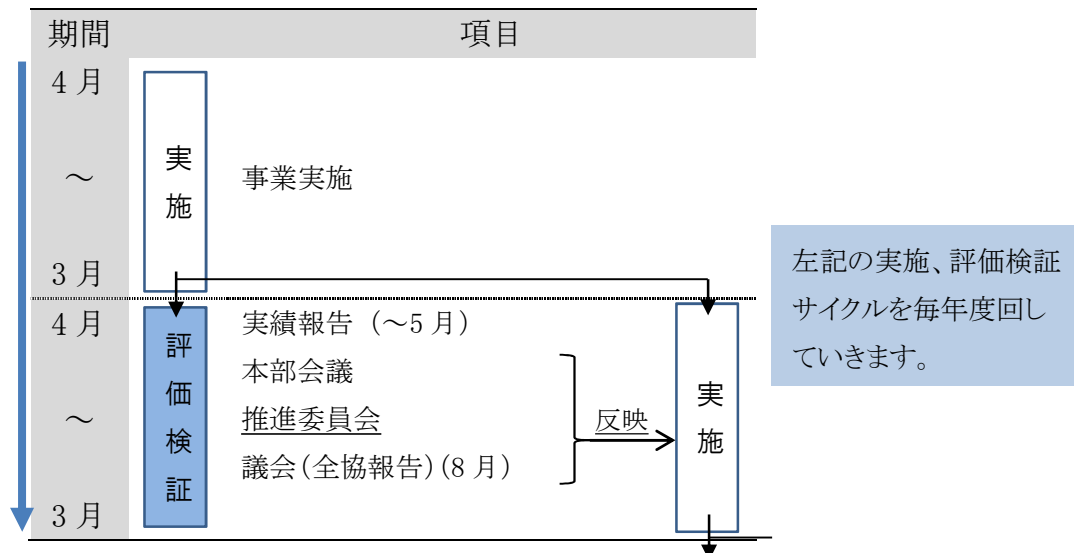
	概要	期間(年度)
管理 1	「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に記載及び関連の事業 全 63 事業	27-31
管理 2	総合戦略に位置づけているもので 「地方創生加速化交付金」に認められた事業 (観光拠点整備事業など) 3事業	28
管理 3	総合戦略に位置づけているもので 「地方創生推進交付金」に認められた事業 (とよあけ花マルシェ事業) 1事業	28-30

- ① 地方における安定した雇用と労働環境の確保
- ② 地方へ新しいひとの流れをつくる
- ③ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- ④ それらを可能にする時代にあった安心な暮らしや魅力ある地域づくり

という国の掲げる4つの目標に向けて、上記3つの事業群を、毎年度進捗を管理して事業展開を進めていきます。加えて、事業の中で可能なものについては地方創生推進交付金の利用検討を進めてまいります。なお、進行管理にあつては、第5次豊明市総合計画と整合を図りながら達成を目指します。

これらの進行管理は次のスケジュールで実施します。毎年実施する本部会議及び推進委員会では、前年度の実施結果及び KPI(成果指標)を報告し今後の実施事業への反映も含めて審議を行うこととします。

表2 スケジュール



### (3) 事業の展開状況

#### ① 概要

「まち・ひと・しごと創生総合戦略」は4つの目標に対し、それぞれ KPI を定めた事業を 41 設定。これらの事業の進行管理が国より求められています。

4つの目標	指標	重要業績 評価指標 (KPI)	事業数
① しごと活力創生プロジェクト	4	11	20
② ひとが集うまち創生プロジェクト	5	11	17
③ 子どもの学びと育ち創生プロジェクト	5	11	16
④ 暮らしの満足創生プロジェクト	3	8	10
合計	17	41	63

#### ② 展開状況

平成 28 年度までに、全 63 事業のうち、56 事業を展開。新規施策は 34 事業。この中から、後述する観光拠点整備事業、とよあけ花マルシェ事業は、それぞれ交付金を獲得して事業を実施しています。上記全 63 事業についての取組状況は次のとおりです。

実施事業	56 事業
新規事業	34 事業
KPI達成状況	23%
交付金事業	桶狭間古戦場観光活性化推進事業 地域ブランド”とよあけ花マルシェ”推進事業

#### ③ 主な取り組みの展開状況と成果

管理1	『「まち・ひと・しごと創生総合戦略」関係事業』主な事業など	別紙 2
管理2	『「地方創生加速化交付金」(観光拠点整備事業など)』	別紙 3
管理3	『「地方創生推進交付金」(とよあけ花マルシェ事業)』	別紙 3

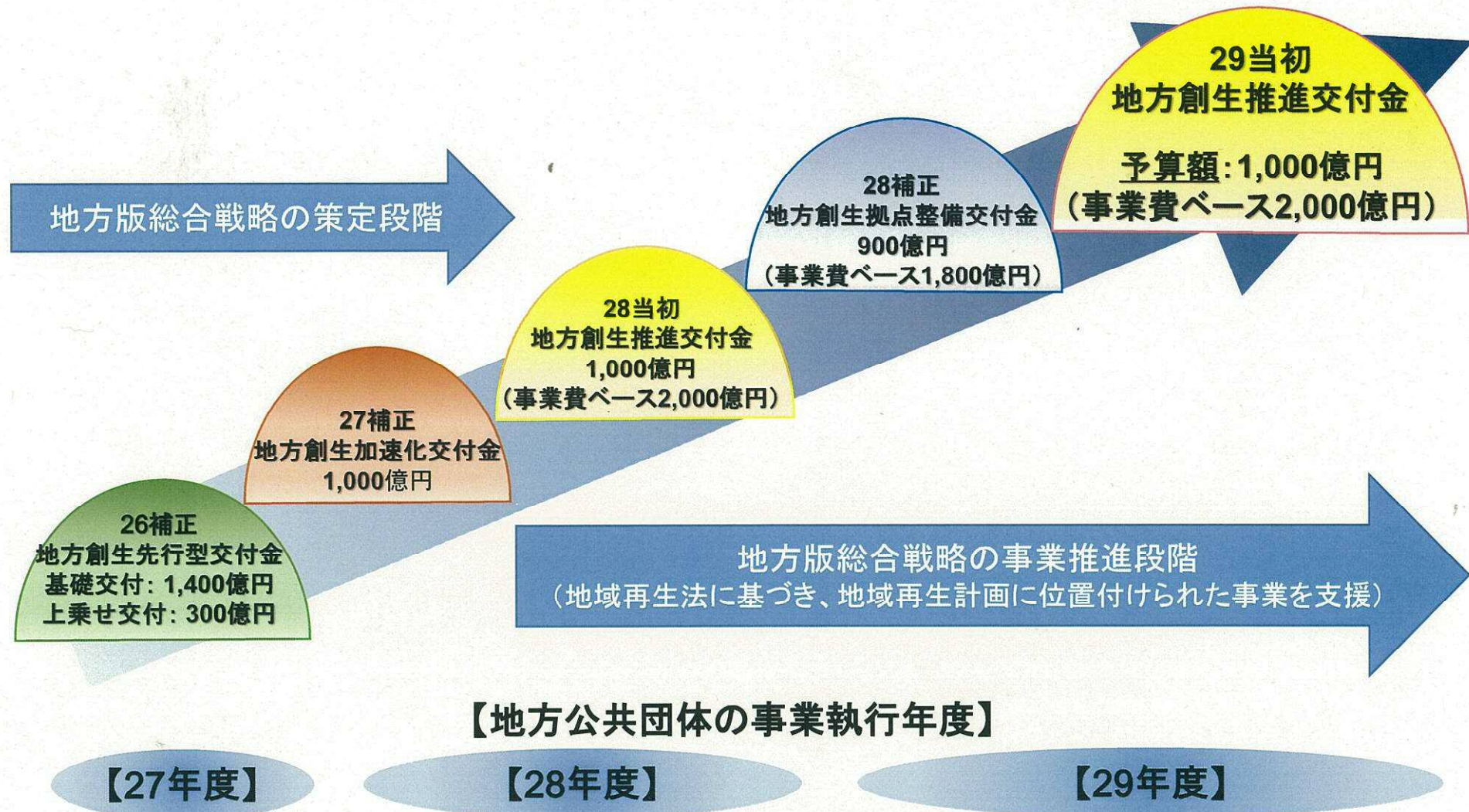
### (4) 今後について

- ・委員任期(平成 30 年 6 月 29 日まで)
- ・本委員会の役割
- ・新計画策定となった場合のお願い



## 地方創生関係交付金の概要（イメージ）

- 自治体の自主的・主体的な取組で、先導的なものを支援
- KPIの設定とPDCAサイクルを組み込み、従来の「縦割り」事業を超えた取組を支援





# 豊明市 総合戦略関連の主な事業

基本目標1 しごと活力創生プロジェクト  
若者が働きがいを感じる企業が多いまちをつくる

企業立地支援に向けて、新体制で新規政策を展開！

## 7 企業立地支援事業

新たな工場等の立地促進のため  
の制度を用意する。

KPI	計画策定時 (H26)	現状値 H28	目標値 (H31)
新規立地企業数	0	7	10 企業 (累計)

### (1) 工場の建設に対する補助金交付制度 (新規)

企業再投資促進補助制度	市内に長年立地する企業の設備投資を支援	H28.10.1～
中小企業再投資促進補助制度	市内に立地している中小企業の設備投資を支援	H29.4.1～
21 世紀高度先端産業立地補助制度	高度先端産業分野における大規模な工場の設備投資を支援	H29.4.1～

### (2) 企業訪問及び御用聞き制度 (新規)

企業（製造業）に対し、地域活性化推進室が企業を訪問し、産業施策等の情報提供及び御用聞きを行う。(平成 29 年 7 月より)

### (3) 企業立地に係るワンストップ相談窓口制度 (新規)

市街化調整区域内において工場等の建設の具体的な立地候補地を検討している企業に対し、地域活性化推進室が窓口となり、工場等の立地に関係する担当部署を集めて、立地の可能性、手続き等について相談会を行う。(平成 29 年 7 月より)

## 17 社宅整備等支援事業 (新規)

豊明市内に従業員の居住を目的とした住居を新たに賃貸契約又は建築もしくは売買により取得した事業者に対して、その費用の一部を助成する制度。(平成 28 年 4 月より)

KPI	計画策定時 (H26)	現状値 H28	目標値 (H31)
年間補助件数	0	2	10 件/年

## その他 (新規)

平成 29 年 2 月、11 の金融機関により豊明金融懇談会が結成され、豊明市と包括協定を締結した。



基本目標 1 その他  
金融懇談会設立



基本目標 2 27  
古戦場まつり開催事業



基本目標 2 32  
花の街とよあけ推進強化事業

## 基本目標2 ひとが集うまち創生プロジェクト

誰もが訪れたい、住みたいと思うような、ひとが集う魅力あふれるまちをつくる

開発検討をはじめ人口増加に向けた取り組みと地域資源を活かした魅力を高める施策を展開！

## 21 住居系市街地の整備促進事業（新規）

前後駅周辺における拠点性の一層の向上を図るため、都市機能の集積と多様な住まいの整備促進を図る。現在、間米南部地区と寺池地区の市街地整備

KPI	計画策定時 (H26)	現状値 H28	目標値 (H31)
前後駅周辺の居住人口 (500m 圏内)	5,921	6,121	6,100 人

の検討が始まっているほか、産業系の土地利用についても検討に着手している。

## 22 同居リフォーム促進事業（新規）

市内にて新たに三世代以上で同居をするために住宅にリフォーム、増改築等をする方に対し、その工事に要する費用の一部を補助する制度を平成 28 年 4 月 1 日に施行した。

KPI	計画策定時 (H26)	現状値 H28	目標値 (H31)
補助件数	0	2	30 件（累計）

## 23 親との同居・近居購入費補助事業（新規）

親や祖父母、子や孫と同居や市内での近居をするために新たに住宅を新築・購入し取得した場合、取得した翌年度からの家屋の固定資産税相当額の一部を補助する制度を平成 28 年 4 月 1 日に施行した。

KPI	計画策定時 (H26)	現状値 H28	目標値 (H31)
補助件数	0	70	30 件（累計）

## 27 古戦場まつり開催事業（加速化交付金事業）（拡充）

歴史的観光資産である「桶狭間の戦い」を起点にした古戦場まつりを開催する。平成 29 年は 6 月 3・4 日に桶狭間古戦場伝説地及び高德院等にて開催し、約 3 万 8 千人が来場した。

KPI	計画策定時 (H26)	現状値 H28	目標値 (H31)
来場者数	30,000	20,000	32,000 人／年

また、観光協会では、豊明市と名古屋市緑区の桶狭間古戦場まつり関係者と学校法人桜花学園の学生によるワークショップを実施し、今後の桶狭間古戦場の観光活性化について検討した。

## 32 花の街とよあけの推進強化事業（推進交付金事業）（拡充）

“とよあけ花マルシェ”ブランドを広く周知するため、平成 29 年 3 月に「とよあけ花マルシェ」イベントを開催し、およそ 1,000 名が来

KPI	計画策定時 (H26)	現状値 H28	目標値 (H31)
講習会等の参加者数	1,000	2,100	2,000 人／年

場した。「エディブルフラワー」の試食コーナーでは、来場者が行列をなし好意的に受け入れていただいた。また、同時開催の体験教室は満員となった。イベントの開催と並行する形でエディブルフラワーの市内生産・流通拡大に向けた支援や、エディブルフラワーに限らず花に関連する商品の開発へも支援を行い、市内洋菓子店で洋菓子等の商品が開発された。

**基本目標3 子どもの学びと育ち創生プロジェクト**  
**教育環境を整え、子どもを安心して産み育てられるまちをつくる**  
 女性の働きやすさ、子どもの育ちを支援する新規施策を展開！

**38 病後児保育事業（新規）**

病後児保育室「えがお」平成 28 年 4 月開所。

病気の回復期（病状が安定してい

て、回復に向かっていている時期）で、医師から病後児保育が可能と診断された子どもを病後児専用施設で一時保育する事業。保育は担当保育士・看護師が行い、病状の変化に対応する。

KPI	計画策定時 (H26)	現状値 H28	目標値 (H31)
病後児の預かり登録 人数	0	141	200 人(累計)

**49 土曜学習実施事業（新規）**

毎月第 2・4 土曜日の午後、塾に通っていない中学生を対象に、教員 O B と大学生や市民のボランティアが、数学と英語の基礎的な内容の授業を実施する。

アが、数学と英語の基礎的な内容の授業を実施する。

KPI	計画策定時 (H26)	現状値 H28	目標値 (H31)
土曜学習実施事業	0	88	60 人/年

**50 英語活用能力アップ事業（新規）**

英語のみで過ごすイングリッシュキャンプ（中学生を対象とし、豊根村の施設や自然を利用する 2 泊 3 日の研修）を実施。平成 29 年度からは小学生を対象とした市内

でデイキャンプも実施する。また、星城高等学校で英語検定対策講座を実施している。

KPI	計画策定時 (H26)	現状値 H28	目標値 (H31)
イングリッシュキャンプ 参加人数	0	10	40 人/年
英語検定対策講座 延べ参加人数	83	76	138 人

**53 女性の復職支援プログラム事業（新規）**

保育士資格を持ちながら現在保育士として働いていない者を対象に、大学等と連携し、「子育て支援員研修」を実施。平成 28 年度は 47

名が受講した。事業実施を通じ、復職に留まらず保育の質向上がより必要であることから、平成 29 年度は、事業メニューを 2 コースへと拡大。基本研修 38 名、専門研修 39 名が参加している。

KPI	計画策定時 (H26)	現状値 H28	目標値 (H31)
プログラムを利用して 復職した人の数	0	1	40 人 (累計)



基本目標 3 53

女性の復職支援プログラム事業



基本目標 3 38

病後児保育事業

**基本目標4 暮らしの満足創生プロジェクト**  
**医療環境、公共交通などを充実し、暮らしの満足度の高いまちをつくる**

全国的にも先進的な事業など、暮らしの安心と賑わいにより満足度を高める取組を展開！

**55 医療・福祉・高齢者等の生活支援拠点整備事業（けやきいきいきプロジェクト事業）（新規）**

豊明団地を医療福祉の拠点とするべく、行政・UR・藤田保健衛生大学が連携して取り組みをすすめている。団地

KPI	計画策定時 (H26)	現状値 H28	目標値 (H31)
高齢者等の相談件数	0	831	500人/年

内には、大学が住民の健康相談窓口として「まちかど保健室」を運営。大学の学生が約50名が団地に居住し、コミュニティ活動に参加している。平成27年度に「北部地域包括支援センターブランチャ」を設置。平成28年度に「豊明東郷医療介護サポートセンターかけはし」を整備、平成29年7月に業務開始する。本事業における医療介護連携体制による取り組みは、団地だけにとどまらず、市内全域や隣接町までに波及している。

**56 駅前賑わい創出事業（新規）**

ハロウィンイベントやクリスマスイルミネーション、変わり菊まつりなど、前後駅前広場で魅力的なイベントを年6回開催し、多

KPI	計画策定時 (H26)	現状値 H28	目標値 (H31)
マルシェの参加出店数	0	14	80店(累計)

くの方に来場いただいた。駅活イベントでは駅活実行委員会が実施主体となり、Jazzの生演奏やキッチンカーの出店、名古屋短期大学の学生の協力による演出なども好評を得て、来場者のアンケートからも「定期開催を望む」や「新しい前後駅を感じる事が出来た」など好意的な意見が大半を占めており、平成29年度は回数を増やし10回開催予定。

**61 コンビニAED設置事業（新規）**

市内の24時間営業のコンビニエンスストア全てにAEDを設置。

KPI	計画策定時 (H26)	現状値 H28	目標値 (H31)
24時間営業のコンビニのAED設置率	0	100	100%

**62 まちづくりNPO支援事業（改善）**

学生主体のグループや立ち上げ初期の団体への支援メニューを新たに設け、多様な主体のまちづくりへの参加を後押しする。

KPI	計画策定時 (H26)	現状値 H28	目標値 (H31)
年間支援件数	6	11	16件/年



基本目標4 55  
けやきいきいきプロジェクト事業



基本目標4 56  
駅前賑わい創出事業



# 豊明市まち・ひと・しごと創生総合戦略 創生63事業一覧 (別紙2\_参考資料)

## 基本目標1

### しごと活力創生プロジェクト ～若者が働きがいを感じる企業が多いまちをつくる～

指標	H26	H28	目標値(H31)
法人市民税額	687,361千円	584,111千円	699,370千円
起業・創業件数	80	54	100件
市内就業者のうち市内在住者数	1,529	1,341	1,775人
市民のうち市内で働きたいと思う若者の割合	48.3	58.7	55.8%

## 施策1.地域の経済活動が盛んなまちをつくる

No.	事業名	事業内容	KPI ※ 事業実施による成果指標 (アウトカム)	H26	H28	目標値
1	後継者育成・マッチング事業	大学生を対象にした企業説明会の実施	マッチング件数	0	3	20件(累計)
2	起業・創業者支援事業	創業支援事業計画に基づき、創業セミナーを行う。	創業支援事業計画による創業支援対象者数	0	36	50件/年
3	空き店舗を活用した活性化事業	空き店舗活用による事業に対する賃料補助を実施する。	空き店舗活用補助件数	0	1	2件/年
4	市内中小企業の人材育成支援事業	新しい分野に挑戦したい事業主や販路拡大を図る事業主をバックアップすること並び商工会の将来を担う人材を育成することを目的とし、豊明市商工会に受講者を推薦してもらい、短期ビジネススクールを受講させる。受講後は、商工会の会議等で会員へフィードバックすることで、他の会員の意識啓発を図る。(10～30人程度)	受講者数	0	4	20人(累計)
5	工業経営塾の実施事業	工業系の事業者、後継者を対象にこれらの方々への育成を図るために年3回程度のセミナーを開催し、制度や運営のためのイロハをレクチャーする。	参加者数	20	12	15件/年
6	プロフェッショナル人材等の就職支援事業	・職業紹介事業の継続 ・企業説明会の実施	無料職業紹介件数	158	47	170件/年
7	企業立地支援事業	市内外の企業(製造業等)による新たな工場等の立地(既存企業の第二工場等の建設、移転を含む。)を促進させるべく、以下の体制を整備するとともに、当該事務の実施について市内企業のほか、市外及び県外企業に向けてPRを行う。 (1)工場の建設に対する補助金交付制度 (2)企業訪問及び御用聞き制度 (3)企業立地に係るワンストップ相談窓口制度	新規立地企業数	0	7	10企業(累計)
8	市内居住者雇用奨励制度の整備事業	雇用、求人状況の把握(小規模企業実態調査28年度予定)したうえで、奨励金制度を創設する。	新規雇用者数	0	0	20人
9	小規模企業実態調査	市内小規模企業者を対象にした実態調査を継続的に実施し、小規模企業の振興を図る。 調査内容 … 経営形態、経営状況、承継状況等 調査対象 … 市内小規模事業者 約1,800事業所	経営改善事業者数	0	0	100
10	ひきざり鍋の普及事業	ご当地グルメ委員会(商工会)の推奨するご当地グルメ「ひきざり鍋」について各イベント等で振舞うなどPRを行い周知をはかる。	参加店舗数	11	11	15店
11	軽トラ市の開催事業	井ノ花公園及び桜ヶ丘公園での軽トラ市を開催し、地元商業の新しい掘り起こしを支援する。	軽トラ市回数	2	4	4回/年
12	新規就農者の受入れ事業	新規就農者に対し、国策である新規就農総合支援事業により青年給付金を給付し、支援している。 また市の農地バンクの利用要件緩和により、新規就農を斡旋している。	年間新規就農者数	1	4	2人/年
13	「とよあけ道の駅」設置検討事業	豊明南口の賑わい創出と併せた検討の実施。	計画策定の進捗率	—	—	計画策定
14	消費喚起プレミアム商品券発行事業	実施については、交付金の有無により決定する。 販売方法、販売額、販売冊数など課題が多く整理が必要。				
15	とよあけブランドづくり開発事業	先行事業により27年度に策定する推進計画に基づき実施する。	地域ブランド化した商品数	1	3	15商品(累計)



施策2.若い人たちの地元での就労を促進する

No.	事業名	事業内容	KPI ※ 事業実施による成果指標 (アウトカム)	H26	H28	目標値
16	職業訓練学校等への入学支援事業	現行の愛知県建設職業訓練校運営支援負担金を継続する。	訓練生数	1	1	2人/年
17	社宅整備等支援事業	従業員の居住を目的とした社宅について、新規建築、新規賃貸契約した物件の家賃、管理費の一部を補助する。	年間補助件数	0	2	10件/年
18	中学生の職場体験事業	市内、市外へ全中学2年生による職場体験の実施	職場体験実施事業所数(延べ数)	216	221	256箇所/年
19	インターンシップ制度支援事業	学校連携を基にしたインターンシップ制度の検討	受入参加企業、団体数	0	15	10社/年
20	市内企業への就職活動支援事業	企業合同説明会を実施する。 (大府市・日進市、みよし市、長久手市、東郷町との合同開催予定)	企業合同説明会等開催回数	0	1	5回/年

基本目標2

**ひとが集うまち創生プロジェクト**  
 ～誰もが訪れたい、住みたいと思うような魅力あふれるまちをつくる～

指標	H26	H28	目標値(H31)
転出者数(年間)	3,281	3,069	2,996人
転入者数(年間)	3,327	3,288	3,626人
桶狭間古戦場関連の観光客数(年間)	44,000	37,154	50,500人
ふるさと納税の寄付金額	92千円	35,168千円	50,000千円
市内のイベント、お店、施設がメディアで紹介された件数	123	240	148件

**施策1.若い人の豊明市への愛着を深め、新しい感性を活かしたまちづくりを推進する**

No.	事業名	事業内容	KPI ※ 事業実施による成果指標 (アウトカム)	H26	H28	目標値
21	住居系市街地の整備促進事業	前後駅周辺における拠点性の一層の向上を図るため、都市機能の集積と多様な住まいの整備促進を図る。導入する都市機能は、物販・飲食だけでなく、旅行代理店、地場産品の直売施設、子育て支援施設、駅前保育施設、高齢者施設、若者の居場所、情報発信施設、在宅ワーク、小規模オフィスなどから、地域特性や利用者のニーズなどを踏まえ総合的に勘案して選定する。平成30年度以降は、今後2年間の調査結果と地権者の意向により判断する。	前後駅周辺の居住人口(500m圏内)	5,921	6,121	6,100人
22	同居リフォーム促進事業	同一敷地内若しくは隣接する敷地において3世代以上同居のためのリフォーム工事に対し、一定額の補助を実施(年度毎3件前後を想定)	補助件数	0	2	30件(累計)
23	親との同居・近居購入費補助事業	新築・購入の次年度以降3年度間における減額措置後の固定資産税相当額について補助を実施(年度毎255件前後を想定)	補助件数	0	70	30件(累計)
24	空き家リフォーム促進事業	現在空き家若しくは当該工事着手前に転居することが決まってい、かつ賃貸住宅に転用することが不動産業者等と締結されているなどの自己所有の戸建住宅を条件とし、リフォーム工事費の補助を実施。事業費は(平成29年度の空家等対策計画策定後以降で、事業費は国土交通省(住宅局住宅生産課所管)「長期優良住宅化リフォーム推進事業」の補助率及び限度額を参照) ※対象790戸(H25住宅・土地統計調査 豊明市戸建空き家総数)	補助件数	0	0	10件(累計)
25	空き家対策の検討事業	平成28年度:空き家机上調査、特定空家等候補現地調査・所有者特定・意向調査、調査報告 【H28-30実施計画重点事業】 平成29年度:空家等対策計画策定、(仮)空家等対策協議会支援業務(平成28年度事業費内訳のうち、国費1/2充当の条件は、空家等対策計画策定することが条件であるため、当該計画策定を行わない場合、全額市費負担)	調査のため成果指標なし			
26	Uターン促進事業	【大学等入学支援事業】 大学入学予定者に対し、入学金1人当り30万円を上限に給付又は貸付けし、大学卒業後も市内に定住してもらい、市民税納付者になってもらう。(世帯の所得制限がある「学び応援奨学金(給付型)」と卒業後に豊明市に住んでいる期間中は返還が免除される「ふるさと応援奨学金(貸付型)」の2種類あり)	入学支援金の給付を受けた学生が、大学等卒業後に市内に定住した人数	0	0	60人

施策2.とよあけの歴史・伝統・文化に誇りを持ち、継承・創造できる環境をつくる

No.	事業名	事業内容	KPI ※ 事業実施による成果指標 (アウトカム)	H26	H28	目標値
27	古戦場まつり開催事業(観光協会事業)	歴史的観光資産である「桶狭間の戦い」を起点にした古戦場まつりの開催。毎年6月第1土・日曜日に桶狭間古戦場伝説地及び高德院等にて実施。土曜日は主に祭礼をおこない、日曜日は勇壮な武者行列、合戦再現劇などを行います。	来場者数	30,000	20,000	32,000人/年
28	甲冑製作補助事業(観光協会事業)	古戦場のまちとよあけをより身近に体験していただくため、ダンボールを使った甲冑製作教室を運営している団体への補助支援をする。この教室で作られた甲冑は古戦場まつりの武者行列参列時に活用される。	参加者数	30	30	30人
29	史跡を活用した観光拠点整備事業	プロモーションビデオを活用したインターネット拡散及びイベント等での放映。ガイドボランティア待機所を活用した情報発信及び展示等の実施。中京競馬場前駅、前後駅前にレンタサイクル、カーシェアの拠点を整備する。レンタサイクルに関しては、市営駅前駐輪場事務所及び古戦場伝説地の案内所等にて貸し出し事務を実施する。また、観光パンフレットの配布等も併せて実施する。カーシェアに関しては、民間事業者が実施しているカーシェアを利用する。また、駅改札付近に、これらを誘導するような案内看板(外国語対応)も民間活用しながら設置する。	観光ガイドの利用客数  レンタサイクル、カーシェアを利用した観光客数	11,000  0	17,154  2	15,000人/年  500人
30	桶狭間関連商品の開発事業	土産品については、既存商品の販売促進を行う。(イベント出店等) PR事業については観光まちづくり事業(継続事業)に含めた形で実施する。フォーラムなどの開催は、大学連携を含め検討する。	フォーラム開催数	0	0	1
31	桶狭間の合戦ウォーキングルート・拠点等の整備事業	【史跡を活用した観光拠点整備事業】 先行型事業によって、観光ルートを策定する。 ウォーキングマップについては、先行型事業の観光マップとの連動が必要となる。 ウェアブル眼鏡、スマートグラス等のバーチャル体験については、バーチャル素材の開発が必要となる。 いずれの事業も、観光まちづくり事業の継続事業で展開する。	観光関連ウォーキング参加者数	3,000	1,772	3,500人/年

施策3.とよあけの魅力を高め、訪れる人を増やす

No.	事業名	事業内容	KPI ※ 事業実施による成果指標 (アウトカム)	H26	H28	目標値
32	花の街とよあけの推進強化事業	商工会実施の花の講習会を継続的に実施する	講習会等の参加者数	1,000	2,100	2,000人/年
33	花のふるさと納税事業	豊明花き市場や市内事業者と連携し、ふるさと納税のお礼の品に季節に合わせた花を入れる。併せて前後駅前広場等でふるさと納税「お礼の品」PR活動を実施する。また、駅前では花の販売等を行い、花の街であることもPRする。	ふるさと納税に対する花の送付件数	0	302	250件/年
34	中京競馬場を利用した花マーケットの開催事業	豊明市で集客力のある中京競馬場を使ってシティセールスを行うため、とよあけ花マルシェによる出店を行い「豊明市＝花のまち」を来場者に印象付ける。	花マルシェの参加出店数	0	0	10回/年
35	情報発信事業(観光事業)	観光Webサイトを作成する。(観光まちづくり継続事業)	観光Webサイト年間閲覧件数	0	0	2万件/年
36	ホームページリニューアル事業	①CMS導入 → ・HPの階層整理が可能となり、情報が取り出しやすくなる。・発信している情報の整理ができる。・スマートフォンへの対応可能・総務省が推進している「みんなの公共サイト運用モデルJISX8341-3 2016」への対応が可能。・平成28年4月から施行となる「障害者差別解消法」にも対象可能。あいち情報セキュリティクラウド接続対応のため、H29年度へ予算を繰り越した。H29.6にリニューアルHP公開。	年間アクセス数	19万件	18万件	36万件/年
37	イベント創出事業(サミット・シンポジウムの開催)	自治体交流及び市民PRのためにサミットを実施する。サミットについては、物産展、PRキャラクターショー、観光PRの開催とシンポジウムを開催する。	サミット参加者数	0	0	3,000人/年

## 基本目標3

**子どもの学びと育ち創生プロジェクト**  
 ～教育環境を整え、子どもを安心して産み育てられるまちをつくる～

指標	H26	H28	目標値(H31)
0～14歳の子どもの数	9,749	9,052	10,011人
豊明市の出生率(人口1,000人に対する出生数)	8.1	8	8.8人
合計特殊出生率	1.42	1.45(H27)	1.53
子育てが楽しいと思っている市民の割合	84.5	73.2	88.8%
職場で働きやすいと思っている女性の割合	35.4	35.5	45.4%

**施策1.子どもを安心して産み育てられるまちをつくる**

No.	事業名	事業内容	KPI ※ 事業実施による成果指標 (アウトカム)	H26	H28	目標値
38	病後児保育事業	病気回復期の児童を専用施設にて一時保育する	病後児の預かり登録人数	0	141	200人(累計)
39	ネウボラ事業	コーディネーターを配置し、地区担当保健師と共に妊娠期から切れ目のない支援ができるようにする。要支援者については、支援プランを作成する。また、子育て支援センターすまいるからファミサポ・ままサポを保健センター内に移転する。	支援プラン作成件数	0	31	100件/年
40	休日保育、延長保育事業	土曜日延長保育時間を 全園で18:30までに拡大	18:30までの土曜日延長保育実施園数	0	79	100%
41	産後ケア事業、産後健診事業	平成28年4月より母子健康手帳交付時、産後健診(1回)の補助券を発行 産後ケア事業については、29年度以降実施予定	産婦健診助成事業による受診率	0	77.5	95%
42	不妊治療への助成事業	一般不妊治療助成限度額本人負担額の1/2の上限額を現行5万円→10万円に変更する。	不妊治療助成件数	64	52	65件
43	駅前での子育て世代支援事業	【駅前保育実施事業】 名鉄前後駅前周辺の施設内にて、小規模保育を実施する	前後駅前での保育施設数	0	0	1
44	社会参加への支援事業	子育て世帯の社会参加を促すため、一時保育事業の拡充を図る。 (子育て支援センターの集約による一時保育専用室の再整備化については、施設整備計画や保育士人材確保の観点も含め、再検討する。)	非定型的保育利用件数	52	101	150
45	男性に特化した子育て講座事業	現在マタニティクラス(妊娠期の教室)には、妊婦とパートナーが参加しやすいように土・日曜日等の開催している。しかし、男性向けではない。  【パパ向け教室の実施回数】 児童福祉課(子育て支援センター)や生涯学習課等と協議し、子育てのパパ向けの教室について検討する。	妊娠期子育て期の親向けの教室(マタニティクラス)参加者のうち男性の占める割合  講座の開催回数	29.6	34.5	35%  0 0 1回/年
46	企業への啓発事業	企業へのイクメン・イクボスの考え方浸透をはかるため、さまざまなメディアを使った露出度を向上させる。	広報及びHP、チラシ等によるイクメン・イクボス推進PR回数	0	0	4回/年
47	婚活支援事業	前後駅前広場活性化事業のひとつとして実施する。 ⇒No.59駅前賑わい創出事業	婚活イベント参加者数	65	0	400人(累計)

施策2.子どもが地域とつながり、大人になったときにも地域で活動できるまちをつくる

No.	事業名	事業内容	KPI ※ 事業実施による成果指標 (アウトカム)	H26	H28	目標値
48	放課後子ども教室事業	市内小学校児童を対象に放課後子ども教室を開校する。 児童クラブとの一体型による運用を行い、業務委託することで児童クラブに通う児童にも通いやすくなるなど、拡充を図る。	実施校数	5	5	9校
		趣味や特技を活かした講座の運営や児童の見守りなど、地域の人や保護者等にボランティア登録を推進する。	ボランティア数(人・団体)	18	39	40人(団体)
49	土曜学習実施事業	毎月第2・4土曜日の午後、塾に通っていない中学生を対象に基礎的な内容の授業を開催する。	土曜学習参加者人数	0	88	60人/年
50	英語活用能力アップ事業	・イングリッシュキャンプの実施 小学生を対象に市内でデイキャンプを、中学生を対象に豊根村の施設や自然を利用したオールイングリッシュでの研修をそれぞれ実施する。 ・星城高等学校で実施される英語検定対策講座に市内小中学校の児童生徒の受検者を増やす	イングリッシュキャンプ参加人数	0	10	40人/年
			延べ参加人数	83	76	138人
51	地域の特性を生かしたスポーツ・文化講座の開設・充実事業	市スポーツクラブ及び指定管理者によりスポーツ教室を実施。 指定管理者 9教室、市 2教室を開催。 指導者は市内講師を中心に開催、市内施設を巡回し開催する軽スポーツ教室も実施している。	スポーツ教室受講者数	508	495	530

施策3.女性が職場や地域で活躍し続けられる環境をつくる

No.	事業名	事業内容	KPI ※ 事業実施による成果指標 (アウトカム)	H26	H28	目標値
52	女性活躍推進セミナーの開催事業	商工会と連携してセミナーを実施する。 市民協働課との連携が必要。(女性活躍推進法)	セミナー等参加者数	0	69	20人(累計)
53	女性の復職支援プログラム事業	保育士資格を持ちながら、現在保育士として働いていない者を対象に、大学等と連携し、1月程度の短期プログラムを開講する。併せて、豊明市内の保育園で短時間勤務保育士として勤務してもらい、再就職の支援をする。 なお、事業を設計する中で、潜在保育士の復職だけではなく、保育に興味がある者、無資格で保育園に勤務している者もセミナーの対象にし、豊明の保育の質及び量の確保に重点を置いて実施している。	プログラムを利用して復職した人の数	0	1	40人(累計)

基本目標4

暮らしの満足創生プロジェクト

～医療環境、公共交通などを充実し、暮らしの満足度の高いまちをつくる～

指標	H26	H28	目標値(H31)
医療や福祉施設、制度の利用者の満足度	49.6	54.9	58.9%
市内の移動がしやすくなったと思う市民の割合	59.3	59.8	66.5%
自分達の考えが地域の活動に取り入れられていると思う若者の割合	11.1	17.7	22.2%

施策1.市民が安心できる医療や福祉の戦略を多様な主体者が連携して実行されるよう整備する

No.	事業名	事業内容	KPI ※ 事業実施による成果指標 (アウトカム)	H26	H28	目標値
54	いきいき笑顔ネットワーク事業	高齢者の医療・介護等に関する情報を、支援にあたる医療介護保健の分野の専門職で共有するためのICTネットワークを整備・運用する。これにより、医療介護職の情報共有が密になり、多職種によるチーム支援が可能になっている。将来的には、他市との連携、本人家族等がアクセスできるポータルサイトの整備、医療介護情報のデータベース化、分析ができるようにする。	ICTで情報共有できている患者(高齢者)数	392	575	600人(累計)
55	医療・福祉・高齢者等の生活支援拠点整備事業(けやきいきいきプロジェクト事業)	豊明団地を医療福祉の拠点とするべく、行政・UR・藤田保健衛生大学が連携して取り組みをすすめている。団地内には、大学が住民の健康相談窓口として「まちかど保健室」を運営。大学の学生が約50名が団地に居住し、コミュニティ活動に参加している。平成27年度に「北部地域包括支援センタープラチ」を設置。平成28年度に「豊明東郷医療介護サポートセンターかけはし」を整備、平成29年7月に業務開始する。本事業における医療介護連携、体制による取り組みは、団地だけでなく、市内全域、や隣接町までに波及している。	高齢者等の相談件数	0	831	500人/年

施策2.自然を確保しながら生活に不自由のない街をつくる

No.	事業名	事業内容	KPI ※ 事業実施による成果指標 (アウトカム)	H26	H28	目標値
56	駅前賑わい創出事業	前後駅前広場で、地元事業者等の有志を中心とした花をモチーフにしたイベントやマルシェなど地域活性化イベントを年6回実施し、その運営費を委託する。将来的には、法人化するなど自主的な運営を目指す。	マルシェの参加出店数	0	14	80店(累計)
57	前後駅周辺の都市機能、住民サービス機能、市民交流機能等の充実事業	図書館で実施している出張所を前後駅前へ移転し、住民票の発行等市民課の業務以外の市役所の行政サービスのなかで移転できる物を精査し業務を行う。なお、市民課以外の業務として税務課、保険医療課、福祉事務所各部門等を想定している。	出張所での証明発行率	0	8	20%
58	駅前活性化事業	行政を始めとする多くの団体での駅前活性化イベント等の開催により、駅前の魅力を再度喚起し集客率を向上させる。それにより、駅前が常ににぎわう環境を創造する。	パルネス来場者数	1,624千人	1,496千人	1,800千人/年
59	医療施設の充実事業	市内で出産・子育てをするのに必要な医療施設(小児科・産婦人科)の施設数を充実する。	小児科、産婦人科の施設数	3	5	5
60	地域公共交通の利便性向上事業	地域公共交通網形成計画の策定	コミバス利用者数	15万人	17万人	17万人/年
61	コンビニAED設置事業	24時間営業のコンビニエンスストアにAEDを設置する。	24時間営業のコンビニのAED設置率	0	100	100%
62	まちづくりNPO支援事業	【市民・コミュニティ提案型まちづくり事業】 市民提案型まちづくり事業、コミュニティ提案型まちづくり事業を継続して支援する。	年間支援件数	6	11	16件/年
63	再生可能エネルギー推進事業	現在、エネルギーの地産地消を目指す市主導の新電力事業会社の設立等は考えておりません。再生可能エネルギーへの転換(=新エネルギーシフト)を目指した施策としては、住宅用太陽光発電システム等設置費補助金を設けており、新エネルギーシフトを実践する市民に設置費用の一部補助する事業を継続します。(補助金額:エネファーム一律5万円)	エネファーム(燃料電池)システム導入補助件数	1	12	50件(累計)



桶狭間古戦場観光活性化推進事業  
(地方創生加速化交付金(28年度))

1. 概要

「地方創生加速化交付金」は「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に位置づけた事業で、緊急に実施すべき事業が対象。本市の採択事業は次のとおり(合計 11,600(千円)交付。10/10 補助)である。平成 27 年度補正予算で措置されたが、繰越明許を行い事業は平成 28 年度に実施した。今回はこれらの実績報告である。

2. 実績と評価認識

(実績)

大項目	決算(千円)		H28 年度実績
1 観光拠点整備 5,000 千円	観光まちづくり委託	1,600	観光 PR のためのポスター及び観光 PR グッズの作成を行い、観光まちづくりの基盤の一端を整備。
	レンタサイクル設置費	1,000	学校法人桜花学園に対し市内でのレンタサイクルの需要調査を委託。調査内容を基に前後駅を拠点とする無料レンタサイクル事業を開始。
	ウォーキングルート	2,400	観光マップに記載した観光拠点を重点的に取り上げ、拠点及びその周囲に案内看板(矢印、距離等記載)を設置。
2 古戦場まつり 5,000 千円	観光協会補助、名古屋市緑区との連携イベントなど	5,000	古戦場まつり開催及び、ダンボールを使用した甲冑製作に対する負担金として支出。また、豊明と緑区の桶狭間古戦場まつり関係者と学校法人桜花学園の学生によるワークショップを実施。
3 観光情報発信 1,600 千円	観光ウェブサイト	800	観光を焦点にしたオリジナルホームページを既存市ホームページとは別に新設。SNSを利用した情報発信も開始。
	PR イベント参加	800	豊明まつり(秋)、グリーンフェスタ、ワールドサムライサミット、信長攻路名古屋城戦国フェスの計4つのイベントで弓矢を用いた「的あてゲーム」のイベントブースを出店し、観光を PR。
	合計	11,600	

ただし、一般財源まで含んだ事業総額は 15,571 千円

(評価認識)

実施を予定した事業はすべて概ね順調に完了した。観光拠点整備費では、洗練された観光 PR ポスターを作製し、それとともに観光 PR グッズ(クリアファイル・ブロックメモ・風呂敷など)を作成した。また、古戦場まつり費では古戦場まつりの魅力を高めるために名古屋市緑区との観光事業の連携を模索するワークショップを3回行った。観光情報発信費では、ウェブサイト構築を年度内で完了し、平成 29 年度より魅力的な情報を発信している。

3. KPI

本事業における重要業績評価指標 (KPI)	1 予定		2 H28 年度実績		3 今後	
	指標値	年月	指標値	指標値	年月	
桶狭間古戦場関連の観光客数(年間)	45,900 人 (現状値:44,000 人)	28 年 6 月	37,154 人 <small>(下記古戦場まつり来場者数を含んでおり、雨天のため伸び悩んだが、H29 年度は 55,000 人を超える見込み)</small>	50,500 人	32 年 3 月	
桶狭間古戦場まつりの来場者数	30,500 人 (現状値:30,000 人)	28 年 6 月	20,000 人 <small>(H28 年度開催日は一時雨天となり伸び悩んだが、H29 年度は 38,000 人を記録した)</small>	32,000 人	31 年 6 月	
観光ウェブサイトの閲覧数(年間)	10,000 件 (現状値:0 件)	29 年 3 月	0 件 <small>(H29.4 ウェブサイト閲覧開始。H29.6.19 時点アクセス数 33,275 件)</small>	20,000 件	32 年 3 月	
レンタサイクルの利用者数(年間)	200 人 (現状値:0 人)	29 年 3 月	2 人 <small>(保管場所及び利用方法など、貸出条件の見直しを検討中)</small>	500 人	32 年 3 月	

4. 今後の取組

観光拠点整備	それぞれの拠点で基盤整備は整いつつあり、今後の展開として、観光拠点の魅力を高めるため、“産・学・官”連携による柔軟な発想を用いて観光客のリピート率向上を図る施策を検討する。
古戦場まつり	従来から引き継がれている伝統を守りつつ地元が誇れるまつりとして、地元住民が主導的に開催する持続可能で魅力的な運営となるよう支援する。
観光情報発信	観光協会ウェブサイトを基軸に、観光に特化した情報を国内外に広く発信します。またイベント会場などでは可動式のデジタルサイネージを利用した市観光スポットの魅力発信とともに、来訪者による SNS の発信力も活用し、場所・時間・環境にとらわれない情報発信を行う。

地域ブランド”とよあけ花マルシェ”推進事業  
「地方創生推進交付金」(28年度-31年度)

1. 概要

花マルシェ事業は、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に位置づけた事業「花の街プロジェクトの推進」を具体化したもので、28年度「地方創生推進交付金」に採択された。

採択事業の概要は次のとおり(3年間事業合計 11,850(千円)交付。1/2 補助。H28 交付額 1,725 千円)。である。事業開始年度である 28 年度の実績報告を行う。

2. 実績と評価認識

(実績)

事業内容		決算 (千円)
28年度 1年目	・商品開発に向けた専門家の指導・助言による商品企画、試作、デザイン等の支援	450
	・エディブルフラワーの市内生産拡大及び流通拡大に向けた資材購入費等支援	450
	・花関連イベントの会場設営及び運営費	1,350
	・運営経費	1,200
	(合計)	3,450

(評価認識)

平成 28 年7月に豊明市商工会事業である前身の「花の街とよあけ推進協議会」から、事業を発展的に引継ぎ、主に年度後半をかけてイベント運営を含め“とよあけ花マルシェ”事業を展開した。

当該交付金では、“とよあけ花マルシェ”ブランドを広く周知するため、平成 29 年3月に「とよあけ花マルシェ」イベントを開催し、来場者およそ 1,000 名の方に花と過ごす素敵な時間を満喫していただいた。当該イベントでは、この先事業展開をすすめるうえで柱の一つとなりうる「エディブルフラワー」について、試食コーナーを設けたが、提供時には来場者が行列をなし好意的に受け入れていただいたことや、同時開催の体験教室において用意したすべて教室が満員になったことから、本事業のもつ潜在的な可能性を知ることができた。

イベントの開催と並行する形で「エディブルフラワー」の市内生産・流通拡大に向けて、現在試験的に行っている生産をより本格的に行えるように支援を行った。また、「エディブルフラワー」に限らず花に関連する商品の開発へも支援を行い市内洋菓子店により商品が開発された。

3. KPI

	平成 29 年 3月末目標	平成 29 年 3月末実績	平成 30 年 3月末目標	平成 31 年 3月末目標
とよあけ花マルシェ商品の販売金額(累計)	200 千円	100 千円	3,200 千円	9,200 千円
とよあけ花マルシェ商品の取り扱い店舗数(累計)	5 店舗	1 店舗	20 店舗	40 店舗
とよあけ花マルシェ開発商品数(累計)	3 商品	3 商品	10 商品	15 商品

※上記平成 29 年3月末実績数値は事業期間内に新規商品を開発し取扱いを行っている店舗数。既存商品に「とよあけ花マルシェ」ロゴを付加して商品を取り扱っている店舗・商品数も計上すると、8 店舗・10 商品前後。

4. 今後の取組予定

イベントや体験講習会の実施、広報紙に毎号掲載するプロジェクトリーダー執筆の「とよあけ花マルシェコラム」等を通して「花」に対する関心を高め“とよあけ花マルシェ”ブランドの周知を図り花文化の醸成を目指します。また、「エディブルフラワー」を使用したより魅力的な商品開発を目指し、産学連携で商品開発を行った事業者の視察や、市場調査、商品企画アドバイス等を予定しています。

事業内容		予定 (千円)
29年度	・プロモーション及び花関連イベントの企画運営	1,000
2年目	・エディブルフラワーの市内生産拡大及び流通拡大に向けた資材購入費等支援及び新商品の試作	800
	・エディブルフラワーの消費拡大のための支援及び市場調査、商品企画アドバイス等	710
	・普及啓発グッズの作成(紹介冊子 10,000 部等)印刷費	400
	・普及啓発グッズの作成(のぼり等 30本等)消耗品費	90
	・運営経費	1,200
(合計)		4,200
30年度	・プロモーション及び花関連イベントの企画運営	1,000
3年目	・エディブルフラワーの市内生産拡大及び流通拡大に向けた資材購入費等支援及び新商品の試作	800
	・商品開発に向けた専門家による指導・助言により商品企画、試作、デザイン等の支援等	710
	・普及啓発グッズの作成(紹介冊子 10,000 部等)印刷費	490
	・運営経費	1,200
	(合計)	



古戦場まつり・観光PRイベント



観光ウェブサイト



ポスター・案内看板



花関連イベント





愛知県  
大金星のまち

# 豊明市



よしもとくん

## ◆ 事業者支援ガイド ◆



「桶狭間今川義元血戦」楊斎延一画



のぶながくん



愛知県豊明市  
豊明市商工会

# ★ 補助制度のご案内 ★

～豊明市では事業者様の設備投資などを支援する制度を設けています～

## 【製造業】豊明市企業再投資促進補助金〔常用雇用者数25名以上〕

補助対象者	【共通要件】 ※新あいち創造産業立地補助金（Aタイプ）に対応 豊明市内において工場等を10年以上、かつ、愛知県内において20年以上立地し、以下の対象分野に該当する工場等の新增設を行う企業	
	<b>【大企業】</b> <b>■投資規模要件</b> 補助対象経費が25億円以上 <b>■雇用要件</b> 常用雇用者数が100名以上	<b>【中小企業】</b> <b>■投資規模要件</b> 補助対象経費が1億円以上 <b>■雇用要件</b> 常用雇用者数が25名以上
工場等の対象分野	・自動車関連、航空宇宙関連、環境・新エネルギー関連、健康長寿関連、情報通信関連、ロボット関連等 ・企業立地促進法に基づく <u>東尾張地域基本計画の指定集積業種</u> （製造業に限る） ※注 P2 下段に掲載	
補助対象経費	土地を除く固定資産取得費用（新增設に係る工場等建設費及び償却資産の取得費用）	
補助率	10%以内（県と市の負担割合 県50%、市50%）	
限度額	10億円	
申請期限	工事着工の30日前まで	
問合先：地域活性化推進室 TEL 0562-92-8332		

## 【製造業】豊明市中小企業再投資促進補助金〔常用雇用者数25名未満〕

補助対象者	豊明市内において立地し、工場等の新增設を行う企業	
	<b>■投資規模要件</b> 補助対象経費が3,000万円以上 <b>■雇用要件</b> 常用雇用者数が25名未満	
工場等の対象分野	指定なし	
補助対象経費	土地を除く固定資産取得費用（新增設に係る工場等建設費及び償却資産の取得費用）	
補助率	5%以内	
限度額	1,000万円	
申請期限	工事着工の30日前まで	
問合先：地域活性化推進室 TEL 0562-92-8332		



## 【製造業】豊明市(愛知県)21世紀高度先端産業立地補助金

【共通要件】 ※愛知県21世紀高度先端産業立地補助金に対応 以下の対象分野に該当する工場等の新增設を行う企業			
補助対象者		<b>【大企業】</b>	<b>【中小企業】</b>
	工場	<ul style="list-style-type: none"> <li>■投資規模要件 補助対象経費が50億円以上</li> <li>■雇用要件 新規常用雇用者数が20名以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■投資規模要件 補助対象経費が2億円以上</li> <li>■雇用要件 新規常用雇用者数が5名以上</li> </ul>
	研究所	<ul style="list-style-type: none"> <li>■投資規模要件 補助対象経費が5億円以上</li> <li>■雇用要件 なし</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■投資規模要件 補助対象経費が2億円以上</li> <li>■雇用要件 なし</li> </ul>
工場等の対象分野	航空宇宙関連、環境・新エネルギー関連、健康長寿関連、情報通信関連、先端素材関連、ナノテクノロジー関連、バイオテクノロジー関連等		
補助対象経費	土地を除く固定資産取得費用（新增設に係る工場建設費及び償却資産の取得費用）		
補助率		<b>【大企業】</b>	<b>【中小企業】</b>
	工場	10%以内  (既存の工場内の設備を一新等する場合は5%以内)	10%以内 12%以内（健康長寿関連のみ）
	研究所	20%以内（既存の研究所内の設備を一新等する場合は10%以内）	
限度額	100億円（300億円以下の投資額は10億円）		
申請期限	工事着工の30日前まで		
問合せ先：地域活性化推進室 TEL 0562-92-8332（中小企業が工場を建設する場合） 愛知県産業立地通商課 TEL 052-954-6372（上記以外）			

## 企業立地促進法に基づく東尾張地域基本計画の指定集積業種

産業名	日本標準産業分類上の業種名
機械・金属 関連産業	11 繊維工業、16 化学工業、18 プラスチック、19 ゴム製品、22 鉄鋼業、23 非鉄金属、24 金属製品、25 はん用機械、26 生産用機械、27 業務用機械、28 電子部品・デバイス、29 電気機械、30 情報通信機械、3231 時計・同部分品
輸送機械 関連産業	11 繊維工業、16 化学工業、18 プラスチック、19 ゴム製品、21 窯業・土石、22 鉄鋼業、23 非鉄金属、24 金属製品、25 はん用機械、26 生産用機械、27 業務用機械、28 電子部品・デバイス、29 電気機械、30 情報通信機械、31 輸送機械、3231 時計・同部分品
健康長寿 関連産業	9 食料品、10 飲料・飼料、11 繊維工業、12 木材・木製品、13 家具・装飾品、14 紙・紙加工品、16 化学工業、18 プラスチック、19 ゴム製品、21 窯業・土石、23 非鉄金属、24 金属製品、27 業務用機械、28 電子部品・デバイス、29 電気機械、30 情報通信機械、31 輸送機械、3231 時計・同部分品、3297 眼鏡、52 飲食料卸
新エネルギー 関連産業	11 繊維工業、16 化学工業、21 窯業・土石、22 鉄鋼業、24 金属製品、25 はん用機械、26 生産用機械、27 業務用機械、28 電子部品・デバイス、29 電気機械、30 情報通信機械、31 輸送機械、3231 時計・同部分品
物流関連産業	44 道路貨物運送業、45 水運業、47 倉庫業、48 運輸附帯サービス業、69 不動産賃貸・管理業

※改正により内容が変更となる場合があります。

### 【店舗】豊明市店舗等水まわり改修工事費補助金

【要件】	【金額】
①市内で営業している店舗の事業主であること。 ②トイレ改修、厨房設備のうち水まわりに係る 20 万円以上の工事を行うこと。 ③市内の事業者または個人施工業者が工事を施工すること。 ④工事着手前（1月31日まで）に申請を行うこと。	工事に要した額の トイレ：100分の50 厨房施設：100分の30 (限度額 20 万円)
問合せ先：産業振興課 TEL 0562-92-8312	

### 【全業種】豊明市社宅整備支援補助金

【要件】	【金額】
①従業員のための社宅を新たに取得した事業主（法人）であること。 ②新たに賃借、新築により取得したものであること。 ③社宅に住む従業員が、市外から転入し、居住するものであること。 ④従業員が居住した月の翌月から対象年度の3月末日までに申請を行うこと。	賃貸：家賃及び共益費 建築購入：取得に要する費用（土地及び償却資産を除く） 1戸当たり 10 万円 (1 補助対象者につき 100 万円)
問合せ先：産業振興課 TEL 0562-92-8312	

### 【店舗】豊明市空き店舗活用事業費補助金

【要件】	【金額】
①対象者 ・商店街振興組合又は事業共同組合を組織している商店街 ・10 店舗以上で組織する任意の商業団体に規約等を有する者等 ②対象施設 ・空き店舗を中心に半径 100 m以内に 5 店舗以上の商店が集合している区域 ・過去に商店、事務所として使われていて 1 ヶ月以上利用されていない施設 ・アンテナショップ、展示場など商店街の活性化に役立つ施設 ③以下の条件を全て満たす事業 ・店舗の 1 階部分で主な活動を行うもの ・週 5 日以上営業し、客が直接店舗に来るもの ・空き店舗の借上げに係る契約期間が 1 年以上あるもの	店舗の整備費及び家賃（敷金、礼金、共益費等は除く）の 2 分の 1 (限度額 50 万円)
問合せ先：産業振興課 TEL 0562-92-8312	

## 【全業種】豊明市都市緑化推進事業費補助金

【要件】	【金額】
<p>①市街化区域及び市街化調整区域内の既存集落において、民有の敷地又は建物の緑化を進める事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・緑化面積がおおむね 100㎡以上（生垣は延長 50 m以上）であること。</li> <li>・緑化施設評価表による基準（道路から眺望できる・不特定の人が立ち入って見ることができる等）を満たすものであること。</li> <li>・緑化工法又は緑化資材の営業を目的としたものでないこと。等</li> </ul> <p>②事業着手前に申請を行うこと。</p> <p>③緑化事業を行う敷地等について、他の法令等による緑化義務がある場合は、その義務の範囲内に限り、補助の対象としない。</p>	<p>対象経費の 2 分の 1 の額とし、次の条件の範囲内とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・屋上緑化及び壁面緑化は、緑化面積に 1㎡あたり 3 万円を乗じた額</li> <li>・駐車場緑化は、緑化面積に 1㎡あたり 2 万円を乗じた額</li> <li>・空地緑化は、緑化面積に 1㎡あたり 1 万 5 千円を乗じた額</li> <li>・生垣設置は、生垣の延長に 1 mあたり 5 千円を乗じた額</li> </ul> <p>(限度額 500 万円)</p>
<p>問合せ先：都市計画課 TEL 0562-92-1114</p>	

## ★ その他の優遇制度 ★

### 信用保証料助成制度

豊明市よりお申し込みの小規模企業等振興資金及び豊明市で認定を受けた愛知県経済環境適応資金サポート資金セーフティネット等により、愛知県信用保証協会へ支払った信用保証料の一部を助成

利用した融資制度	助成金額
<p><b>小規模企業等振興資金融資制度</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小口資金</li> <li>・通常資金</li> </ul>	<p>保証協会に支払った信用保証額の 60%又は 10 万円のどちらか低い額</p>
<p><b>経済環境適応資金融資制度</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・セーフティネット</li> <li>・創業等支援資金</li> </ul>	<p>保証協会に支払った信用保証額の 60%又は 20 万円のどちらか低い額</p>

問合せ先：産業振興課 TEL 0562-92-8312

### 小規模事業者経営改善資金利子助成金制度

豊明市商工会より(株)日本政策金融公庫の小規模事業者経営改善資金の融資を受けた方に対し、支払った利子の一部を助成

利用した融資制度	助成金額
<p><b>小規模事業者経営改善資金</b></p>	<p>融資を受けた日から 1 年間に支払った利子の 1/2 以内又は 10 万円のどちらか低い額</p>

問合せ先：豊明市商工会 TEL 0562-93-6666 産業振興課 TEL 0562-92-8312



# 立地に伴う主な関係法令一覧

	手続き	関係法令	内 容	窓 口	時 期	
用地取得	開発行為の許可申請	都市計画法	建築物や特定工作物の建築の用に供する目的で、開発行為(土地の区画形質の変更)を行う場合	県尾張建設事務所 市都市計画課	随時	
			区 域			面積要件
			市街化区域			500㎡以上
				市街化調整区域	全て	
	農用地区域からの除外申請	農業振興地域の整備に関する法律	農用地区域内において開発行為を行う場合	市産業振興課	市が設定する申請期限まで(1~4回程度)	
	農地転用の届出	農地法	農地に新規立地する場合	市農業委員会	農業委員会が設定する申請期限まで(ほぼ毎月)	
事後	森林開発の許可申請	森林法	地域民有林内において1ha以上の開発行為を行う場合	県森林保全課 県尾張農林水産事務所	随時	
			地域民有林内において1ha未満の開発行為を行う場合	市産業振興課		
	砂防指定地内の許可	砂防法	砂防指定地区域内で工作物の設置等を行う場合	県尾張建設事務所	随時	
	宅地造成工事の許可	宅地造成等規制法	宅地造成工事規制区域内で宅地造成工事を行う場合	県尾張建設事務所 市都市計画課		
	土地取引の届出	国土利用計画法	一定面積以上の土地売買等の契約を締結した場合	市企画政策課	契約締結日を含めて14日以内	
		区 域	面積要件			
		市街化区域	2千㎡以上			
		市街化調整区域	5千㎡以上			
工事建設	建築確認申請	建築基準法	一定規模以上の建築物の新築・増改築等を行う場合	県建築指導課 市都市計画課	随時	
	特定工場の届出	工場立地法	特定工場の新設・増設を行う場合	市地域活性化推進室	90日前 (30日を目処に短縮可)	
			業 種			製造業 電気・ガス・熱供給業 (水力・地熱・太陽光発電を除く)
			規 模			敷地面積9千㎡以上又は 建築面積3千㎡以上
	雨水浸透阻害行為許可申請	特定都市河川浸水被害対策法	田畑など締め固められていない土地で500㎡以上の開発を行う場合	県尾張建設事務所 市土木課	造成工事着手前	
公害防止に係る諸手続	大気汚染防止法	公害を発生するおそれのある施設を設置する場合	尾張県民事務所 環境保全課	60日前		
	水質汚濁防止法					
	騒音規制法 振動規制法	規制地域内で特定の施設を設置または工事作業を行う場合	市環境課	施設設置：30日前 建設作業：7日前		

※事前協議が必要な手続きについては、事前協議が整い、申請書類を提出した後、許可までに半年以上の期間を要するものもあります。  
 ※この表は主な規制のみ記載しております。

## 工場立地法上の特定工場の要件

特定工場に該当する場合は、敷地面積に対する以下の施設面積の割合が定められています。

	対 象 施 設	面 積 率
生産施設	製造業における物品の製造工程等を形成する機械又は装置及びそれらが設置される建築物等	業種によって 30~65%以下(別表)
緑 地	樹木が生育する区画された低木 又は芝その他の地被植物で表面が覆われている } 土地又は建築物屋上等緑化施設	20%以上
環境施設	噴水、池などの修景施設、屋外運動場、雨水浸透施設、太陽光発電施設など+緑地面積	25%以上

別表：敷地面積に対する生産施設面積の割合

第1種	化学肥料製造業のうちアンモニア製造業及び尿素製造業、石油精製業、コークス製造業並びにボイラ・原動機製造業	30%
第2種	伸鉄業	40%
第3種	窯業・土石製品製造業(板ガラス製造業、陶磁器・同関連製品製造業、ほうろう鉄器製造業、七宝製品製造業及び人造宝石製造業を除く)	45%
第4種	鋼管製造業及び電気供給業	50%
第5種	でんぷん製造業、冷間ロール成型形鋼製造業	55%
第6種	石油製品・石炭製品製造業(石油精製業、潤滑油・グリース製造業(石油精製業によらないもの)及びコークス製造業を除く)及び高炉による製鉄業	60%
第7種	その他の製造業、ガス供給業及び熱供給業	65%

# ★ 経営発達支援事業 ★

小規模事業者の持続的発展を図ることを目的として、本会は小規模事業者の事業計画作成やその着実な実施を伴走的に支援します。また、技術の向上や新たな事業分野への挑戦、創業、事業承継への支援も行います。(当該支援を行う本会の事業計画が2015年11月に経済産業大臣に認定されました。)

## ★1 補助金の獲得や、売上・利益増加の土台となる経営計画の策定をサポートします!

販路開拓、新商品開発、売上拡大、新事業展開、新店舗開店、技術力の強化、創業など、事業者・創業者の皆様の「○○○したい」事について、商工会は事業計画策定・具体化に向けて、経営分析・計画策定・実施支援・フォローまで、継続的に面談を重ね伴走的に支援します。(支援は無料)

## 夢の具体化へは国の補助金制度の活用が有効です。

※下記補助金制度等の公募状況は豊明市商工会へお問い合わせください。(電話：0562-93-6666)

### 小規模事業者持続化補助金 ※内容は変更になる場合があります 公募は不定期

概要	経営計画に基づき、商工会の支援を受けながら行う、小規模事業者による創意工夫を凝らした地道な販路開拓等に要する経費の一部を補助
補助対象者	常時使用する従業員の数が下記の人数の事業者 ・卸売業、小売業、サービス業(宿泊業・娯楽業以外)5人以下 ・サービス業(宿泊業、娯楽業)、製造業その他20人以下
補助金額・補助率	補助上限額 50万円(補助率 2/3)
対象経費	新たな販促用チラシやホームページの作成等の広告宣伝、集客力を高める店舗改装、展示会出展、商品パッケージや包装の変更等

### ものづくり補助金 ※内容は変更になる場合があります 公募は不定期

概要	経営力向上に資する革新的サービス開発や、試作品開発、生産プロセスの改善などを行うための設備投資等の一部を補助
補助対象者	中小企業者
補助金額・補助率	①一般型：補助上限 1,000万円 補助率 2/3 以内 設備投資が必要 ②小規模型：補助上限 500万円 補助率 2/3 以内 設備投資(必須ではない) ③第四次産業革命型：補助上限 3,000万円 補助率 2/3 以内 設備投資が必要
対象経費	機械装置費、技術導入費、専門家経費、運搬費等

### 創業補助金 ※内容は変更になる場合があります 公募は不定期

概要	新たな需要や雇用を創出する創業に要する費用の一部を補助
補助対象者	産業競争力強化法における認定市区町村(豊明市は該当)又は認定連携創業支援事業者による特定創業支援事業(講習会等)に参加した創業者で新たに従業員を1名以上雇い入れる中小企業者
補助金額・補助率	補助金額の範囲：50万円以上～200万円以内 補助率：1/2
対象経費	人件費や設備費等

## ★2 資金調達をサポートします!

当商工会が計画認定を受けたことにより、小規模事業者の皆様に「小規模事業者経営発達支援資金」という新しい融資制度を利用していただくことが可能です。

これは、商工会による事業計画の策定支援を受けた小規模事業者に通常より低い利率で、上限7,200万円まで融資を受けることが可能となります。(無担保・無保証制度ではありません。)

その他、無担保・無保証・低利率で、上限2,000万円の「小規模事業者経営改善資金」も利用可能です。

詳細はお問い合わせください。(豊明市商工会 TEL 0562-93-6666)



## ★お問い合わせ窓口

お問合せの内容	担当部署	電話番号
ごみの出し方、リサイクル、騒音・振動の届出など	環境課	0562-92-1113
道路、河川等の占用、承認工事、砂防、官民境界立会い、雨水浸透阻害行為など	土木課	0562-92-1116
開発許可、建築確認、屋外広告物、緑化工事補助、宅地造成区域内工事、都市公園の占用許可など	都市計画課	0562-92-1114
下水道に関すること	下水道課	0562-92-1126
上水道に関すること	愛知中部水道企業団	0561-38-0030
農業委員会への申請、農業振興地域の確認、森林の伐採届、商工業に係る各種助成制度など	産業振興課	0562-92-8312
入札、請負契約	財政課	0562-92-8314
企業支援制度	地域活性化推進室	0562-92-8332

## ★豊明市の統計資料

### 人口・面積

※平成29年4月1日現在

#### 人口

総数：68,802人（男：34,913人 女：33,889人）

世帯数：29,240世帯

面積：23.22km<sup>2</sup>

### 農業の状況

※農林業センサス(平成27年2月1日)

農家数	販売農家就業人口	経営耕地面積
737戸	443人	319ha

### 商業の状況

※商業統計調査(平成26年7月1日)

事業所数	従業員数	年間商品販売額
351件	3,430人	1,174億6,200万円

### 工業の状況

※工業統計調査(平成26年12月31日)

事業所数	従業員数	製造品出荷額等
156件	5,647人	1,672億9,961万円

## ★豊明市への交通アクセス



### 電車でお越しの方

From Nagoya Station, Tokyo Station & Osaka Station

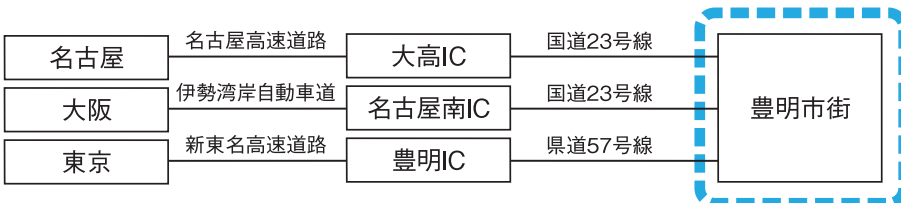


名古屋駅から  
市内3駅  
約20分



### 自動車・タクシーでお越しの方

By Car & Taxi



各インターからの  
抜群のアクセスで  
全国と接続

編集

豊明市経済建設部 地域活性化推進室 TEL.0562-92-8332

〒470-1195 豊明市新田町子持松1番地1

発行：平成29年5月

E-mail: chikatsu@city.toyoake.lg.jp

URL: http://www.city.toyoake.lg.jp/



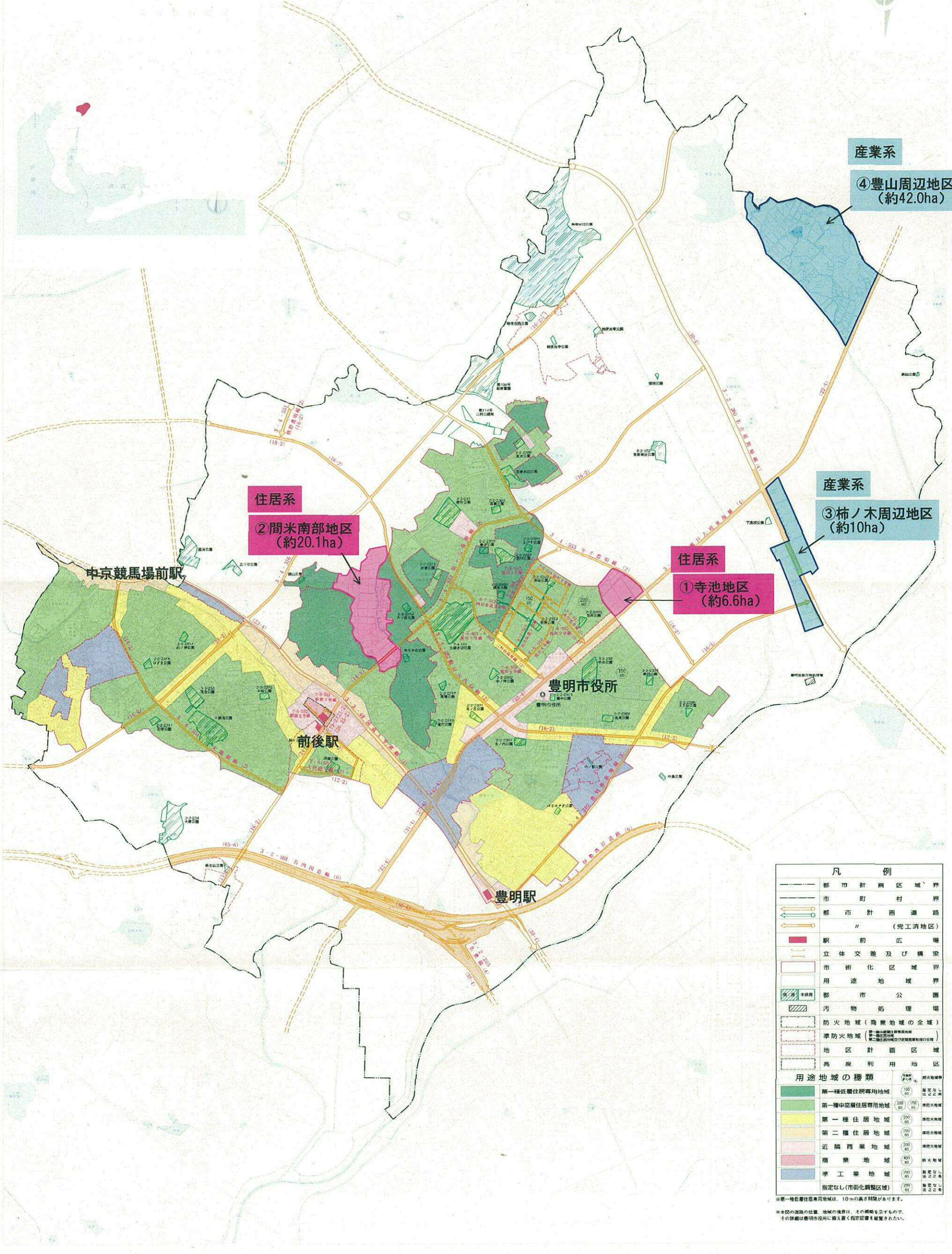
## 名古屋都市計画区域 豊明市都市計画図

(市街化区域) 豊明市告示 第97号 昭和45年11月24日  
 豊明市告示 第188号 昭和54年3月22日  
 豊明市告示 第380号 昭和59年4月4日  
 豊明市告示 第748号 昭和62年12月24日  
 (計画道路) 豊明市告示 第248号 昭和40年6月28日(当初)  
 豊明市告示 第707号 昭和52年12月24日(変更)  
 豊明市告示 第80号 平成22年12月24日(変更)

(用途地域) 豊明市告示 第743号 昭和47年9月18日  
 豊明市告示 第1171号 昭和48年12月17日  
 豊明市告示 第186号 昭和54年3月22日  
 豊明市告示 第1308号 昭和54年12月21日  
 豊明市告示 第390号 昭和58年4月4日  
 豊明市告示 第396号 昭和58年4月14日  
 豊明市告示 第467号 平成8年5月31日  
 豊明市告示 第410号 平成10年5月15日  
 豊明市告示 第754号 平成22年12月24日  
 豊明市告示 第3号 平成26年4月1日

(計画道路) 豊明市告示 第148号 平成4年2月17日(当初)  
 豊明市告示 第783号 平成22年12月24日(最終)  
 豊明市告示 第29号 昭和48年7月24日(当初)  
 豊明市告示 第81号 平成22年12月24日(最終)  
 (防火地域) 豊明市告示 第20号 昭和53年10月16日  
 豊明市告示 第5号 昭和54年10月22日  
 豊明市告示 第29号 昭和54年12月21日  
 豊明市告示 第14号 昭和58年4月4日  
 豊明市告示 第29号 平成8年5月31日  
 豊明市告示 第4号 平成26年4月1日

(地区計画) 豊明市告示 第30号 平成8年5月31日  
 豊明市告示 第23号 平成13年5月1日  
 豊明市告示 第12号 平成18年4月1日  
 豊明市告示 第45号 平成17年7月15日(変更)  
 豊明市告示 第47号 平成19年3月1日  
 豊明市告示 第52号 平成20年5月1日  
 豊明市告示 第90号 平成21年7月1日  
 豊明市告示 第5号 平成28年4月1日  
 豊明市告示 第6号 平成28年4月1日  
 (高度利用地区) 豊明市告示 第18号 昭和52年10月1日



凡 例	
---	都市計画区域境界
---	市町村界
---	都市計画道路
---	“(完工済地区)”
■	駅前広場
■	立体交差及び橋梁
---	市街化区域境界
---	用途地域境界
■	都市公園
■	汚物処理場
■	防火地域(商業地域の全域)
■	準防火地域(第一種低層住居専用地域)
■	地区計画区域
■	高度利用地区
用途地域の種類	
■	第一種低層住居専用地域 (100)
■	第一種中高層住居専用地域 (200)
■	第一種住居地域 (100)
■	第二種住居地域 (100)
■	近隣商業地域 (200)
■	商業地域 (400)
■	準工業地域 (100)
■	指定なし(市街化調整区域) (200)

※第一種低層住居専用地域は、10mの高さ制限があります。  
 ※本図の道路の位置、地籍の境界は、その概略を示すもので、その詳細は豊明市役所に備え置く図面を参照されたい。



## 団地概要

所在地 愛知県豊明市二村台五丁目1-1他  
 交通 名鉄名古屋本線「前後」駅バス10分、バス停下車徒歩1分  
 管理開始 昭和46年  
 戸数 2,127戸  
 住宅形式 2DK～3DK(39㎡～51㎡)



## 経緯 — 現時点までの主な出来事 —

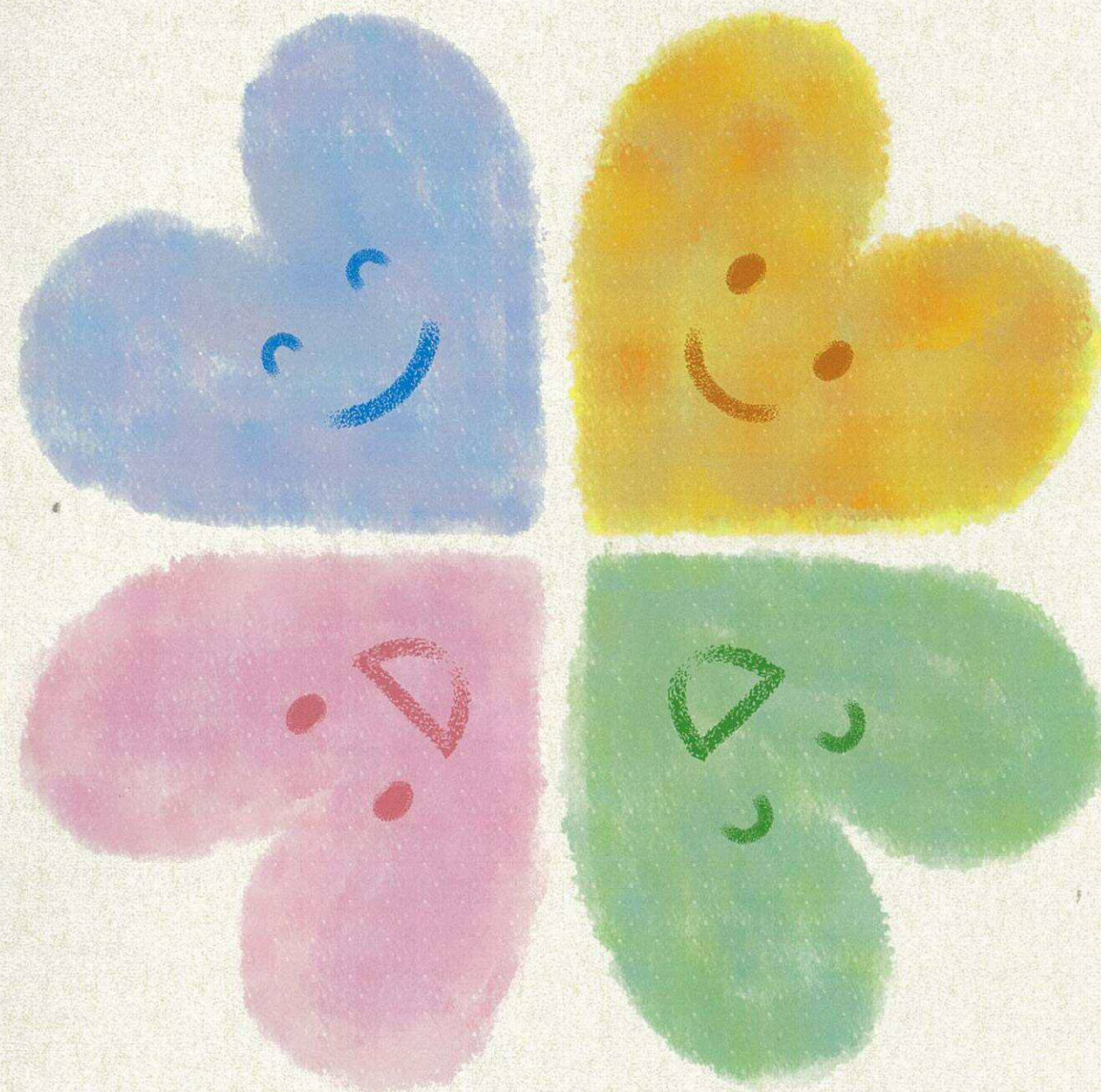


平成 25 年 4 月	豊明市と藤田学園との連携協力に関する協定締結
平成 26 年 4 月	豊明市とURとの連携協力に関する協定締結
平成 26 年 10 月	UR「地域医療福祉拠点化」先行23団地として、豊明団地を公表
平成 26 年 12 月	URと藤田学園藤田保健衛生大学との連携協力に関する協定締結
平成 27 年 4 月	「ふじたまちかど保健室」オープン
平成 28 年 3 月	地域包括支援センター豊明団地出張所オープン
平成 28 年 4 月	病後児保育室「えがお」オープン
平成 29 年 7 月	けやきテラスオープン
平成 29 年 7 月	豊明東郷医療介護サポートセンター「かけはし」オープン
平成 29 年 秋	ロボティクススマートホーム実証研究施設オープン(予定)

独立行政法人 都市再生機構 中部支社 住宅経営部 ストック活用計画課 TEL 052-968-3396  
〒460-8484 名古屋市中区錦三丁目5番27号(錦中央ビル7階)

豊明市 健康福祉部 高齢者福祉課 TEL 0562-92-1261  
〒470-1195 愛知県豊明市新田町子持松1番地1

藤田保健衛生大学 地域包括ケア中核センター TEL 0562-93-3707  
〒470-1192 愛知県豊明市番掛町田楽ヶ窪1番地98  
 訪問看護ステーション  
 ふじたまちかど保健室  
 TEL 0562-95-0311  
 豊明東郷医療介護サポートセンター  
 TEL 0562-92-9984



# 豊明団地 「けやきいきいき プロジェクト」 の取組み



藤田保健衛生大学  
FUJITA HEALTH UNIVERSITY

街に、ルネッサンス  
UR 都市機構



# 豊明団地

## 「けやきいきいきプロジェクト」とは？

豊明団地(愛知県豊明市・昭和46年管理開始・2,127戸)を舞台として、豊明市・藤田保健衛生大学・UR都市機構の3者が相互に包括協定を締結のうえ、団地自治会とも協力し、地域医療福祉拠点の形成に向けた取組みを推進しています。団地内の賃貸施設を活用した医療・福祉機能の設置や大学生の団地居住、団地で開催される各種コミュニティ活動への参加などを通じて、多様な世代が生き生きと暮らし続けられる住まい・まちづくりを目指しています。

街に、ルネッサンス  
UR都市機構

### 独立行政法人都市再生機構 (UR都市機構)

まちづくりを担う国の政策実施機関として、“都市の健全な発展”と“国民生活の安定向上”に寄与し、「都市再生」「住環境」「災害復興」「郊外環境」の4つの事業分野で、多様な取組みを実施しています。

住環境分野においては、全国で約74万戸(平成29年4月現在)の賃貸住宅(UR賃貸住宅)を管理し、豊かな生活空間を提供するとともに、高齢者や子育て世代に対する住宅セーフティネットとしての役割の充実を図るため、UR都市機構の管理する既存ストックを有効活用した国家的モデルプロジェクトである、地域医療福祉拠点の形成に向けた取組みを推進しています。

#### 「けやきいきいきプロジェクト」における役割

- 拠点となる施設の入入れ(賃貸施設等の活用)
- 見守りサービスや生活相談等を行う生活支援アドバイザーの配置
- 集会所の改修によるコミュニティスペースの提供
- 医療、福祉、団地コミュニティ活性化イベントの開催支援(集会所の無償提供等)
- 大学生及び教職員用住宅(リノベーション住戸等)の提供
- 訪問系サービス事業者のための駐車スペースの提供

### 豊明団地自治会

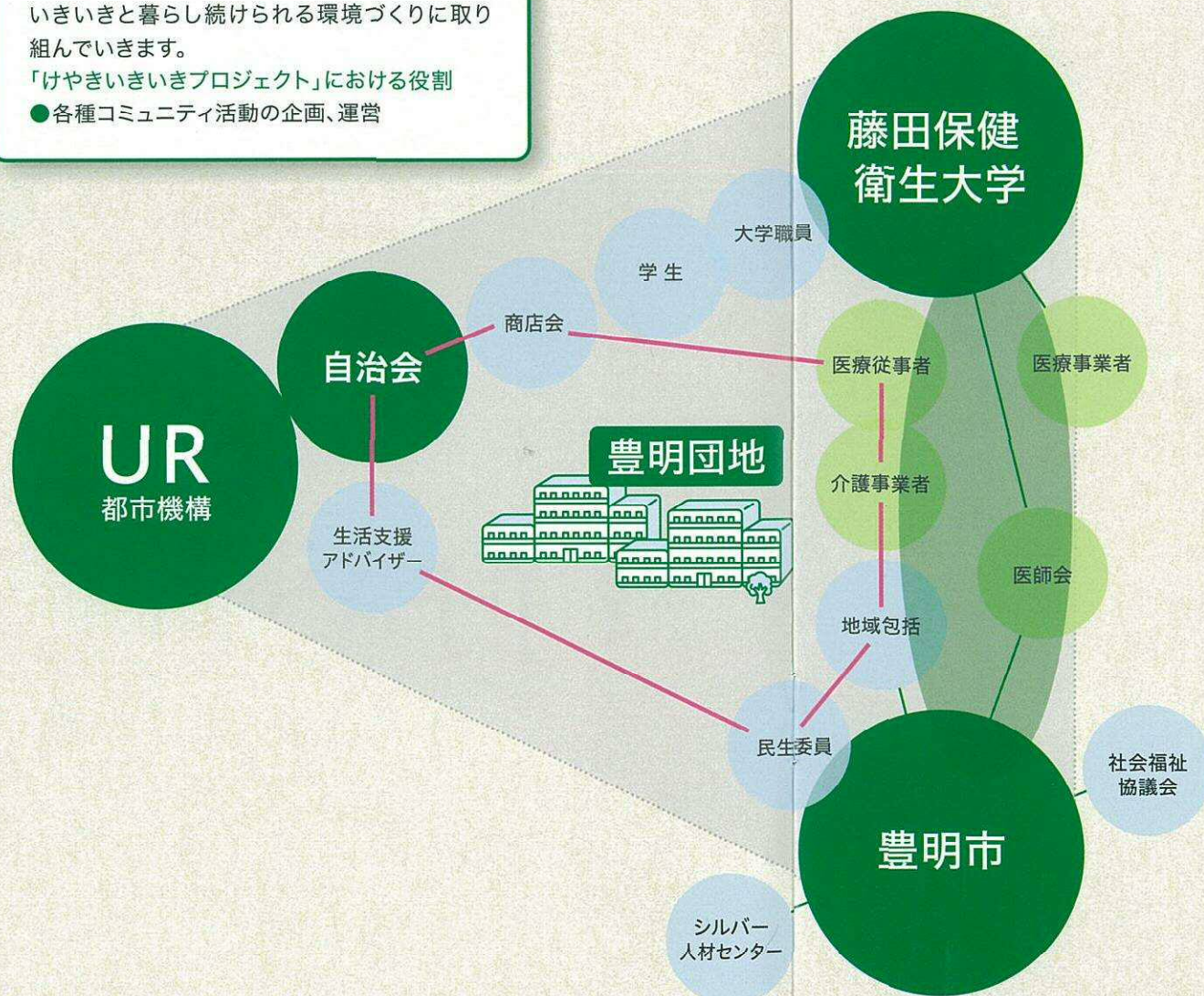
豊明団地の管理開始直後の昭和48年1月に発足し、居住者相互の親睦や地域交流を目的として、自治会の4大行事である、夏まつり・防災訓練・文化祭・もちつき大会をはじめ、様々な活動に取り組んでいます。

けやきいきいきプロジェクトを通じて、団地内に居住する大学生が自治会主催のイベントに参加する機会も多く、活動の幅が広がっています。今後も子供からお年寄りまで、多様な世代がいきいきと暮らし続けられる環境づくりに取り組んでいきます。

#### 「けやきいきいきプロジェクト」における役割

- 各種コミュニティ活動の企画、運営

- けやき会議等での連携
- UR・市・大学の3者協定
- いきいき笑顔ネットワーク(在宅医療福祉) ※



藤田保健衛生大学 FUJITA HEALTH UNIVERSITY 藤田保健衛生大学

医学部・医療科学部を持つ医療系総合大学と高度急性期と特定機能病院として1435床の大学病院を同一敷地内にもつ学校法人藤田学園は、「未来の医療人材育成」と「地域の命と健康を守る」ために、「医療」「教育」「研究」「地域医療福祉貢献」の4つの分野で多様な取組みを実施しています。

「地域医療福祉貢献」分野では、学校法人として全国初の「地域包括ケア中核センター」を大学内に設置しました。具体的には豊明市や医師会等と協力し、高度医療処置が可能な在宅訪問看護ステーション・訪問リハビリ・ケアマネジメントを展開しております。さらに豊明団地において、学生と教職員が居住し「地域貢献」と「地域課題を解決」できる未来医療人を育成し、活動拠点である「ふじたまちかど保健室」を中心とした住民への健康講座や無料相談を実施し、あらたに医療介護福祉専門職の連携を支援する「かけはし」の運営も開始します。都市部の急速な少子高齢化課題の解決モデルとなる「先進的地域包括ケア」を実践しています。

#### 「けやきいきいきプロジェクト」における役割

- 「ふじたまちかど保健室」の運営、イベントの主催
- 学生、教職員の団地内居住の推進及び団地内での自治会等コミュニティ活動への参加
- 団地をフィールドとした地域住民の健康増進と地域医療介護人材の育成
- 豊明高校と連携したコミュニティ活動への参加
- 豊明東郷医療介護サポートセンター「かけはし」の運営
- ロボティクススマートホーム実証研究施設の開設

みんなであつなく しあわせのまちとよあけ 豊明市

愛知県のほぼ中央部、名古屋市南部に隣接し、名古屋駅まで電車で約20分、自動車産業が盛んな西三河地域へ自動車約30分と通勤・通学にアクセスが抜群ながら、豊かな自然や歴史文化を身近に感じることができる日本三大古戦場「桶狭間古戦場伝説地」がある住みやすいまちです。また、日本最大級の病床を誇る藤田保健衛生大学病院における高度先端医療や、特別養護老人ホームや老人保健施設等の介護資源も充実しており、市民の安心を支えています。平成28年度から始まった第5次総合計画では、まちの未来像を「みんなであつなく しあわせのまちとよあけ」と定め、地域が一丸となって「つながり」や「しあわせ」を感じられるまちづくりを進めています。

#### 「けやきいきいきプロジェクト」における役割

- 地域医療介護ネットワークの構築
- 地域ケア会議等の開催
- 地域包括支援センター豊明団地出張所の開設
- 豊明東郷医療介護サポートセンター「かけはし」の開設
- 病後児保育室「えがお」の開設



関係者による定例会議「けやき会議」

※豊明市では、愛知県医師会社会福祉専門委員会の指導のもと、東名古屋豊明市医師会、愛豊歯科医師会豊明支部、日進東郷豊明薬剤師会、豊明市、中核病院(藤田保健衛生大学病院)、名古屋大学医学部附属病院脳卒中医療管理センター及び在宅医療福祉に関わる事業者等が、それぞれ連携して、在宅医療・福祉統合ネットワーク「いきいき笑顔ネットワーク」を構築しています。



# 豊明団地

## 「けやきいきいきプロジェクト」

### 取組み事例①



学生による買い物支援



自治会主催「ふれあい会食」

#### 学生・教職員の団地内居住によるコミュニティの活性化

藤田保健衛生大学の学生・教職員約60名(平成29年4月時点)が豊明団地に居住し、ふじたまちかど保健室での活動や団地自治会主催の食事会、夏祭り、清掃活動などのコミュニティ活動に積極的に参加しています。多世代交流を通じて、学生が医療・介護の現状を直に学ぶことができるとともに、ミクストコミュニティの形成促進にも貢献しています。URでは、学生向けにリノベーションを行った住宅も供給しています。



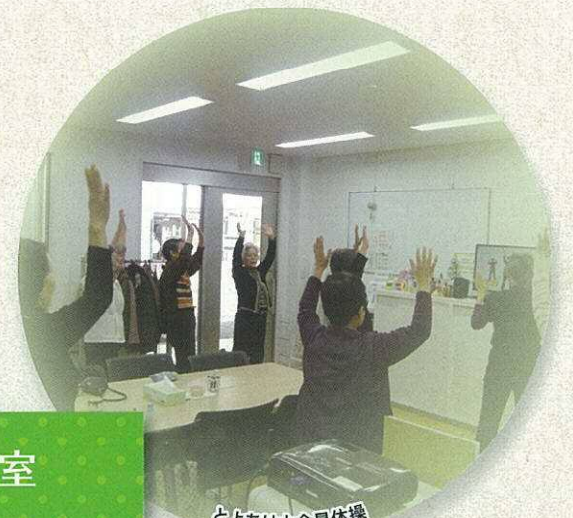
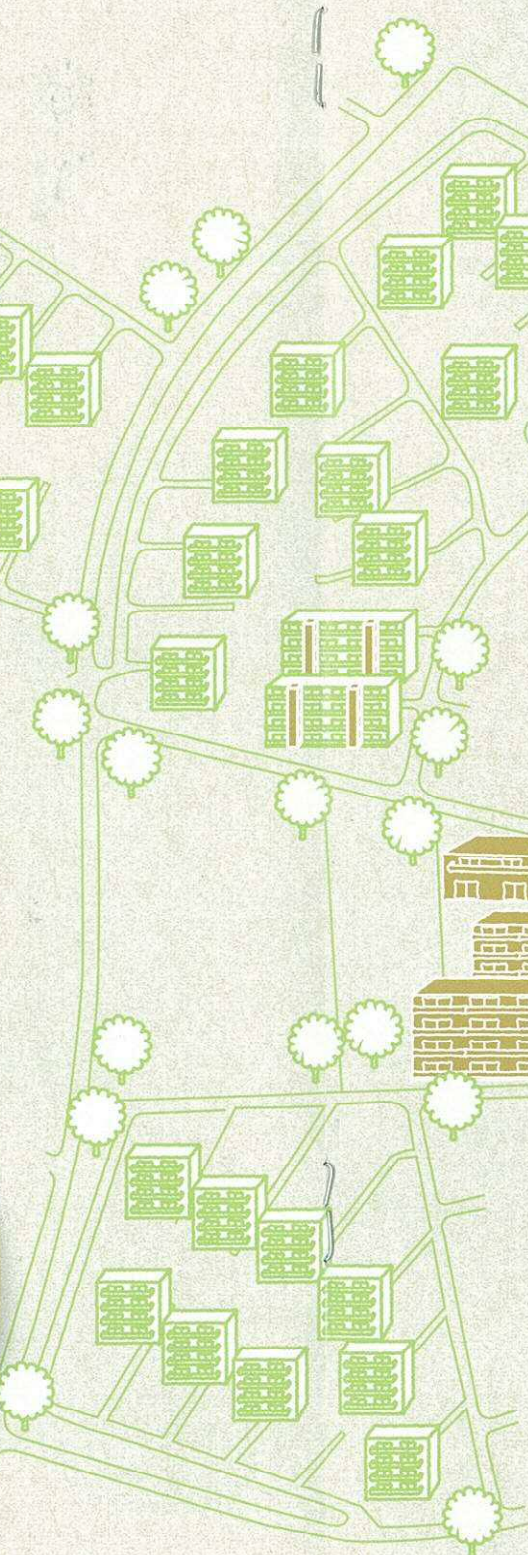
けやきいきいきプロジェクト参加学生



学生向けリノベーション住宅



自治会主催「夏祭り」



とよあけ大金星体操

#### ふじたまちかど保健室

「地域共生社会」実現と、住み慣れた地域で暮らし続けることを支援するため、都市近郊型大規模集合住宅での大学による地域包括ケアモデル(予防・生活支援・住まい側からの医療・介護連携)づくりを目標としています。

無料相談、看護師等の専門職や地域講師による医療・健康・生活・趣味の講座、各種地域貢献や学生イベント等を開催し、年間来室者約5,000名・講座参加者約3,000名(平成28年実績)と多くの方にご利用頂いています。

講座に参加された方からは「ここに来ると友達も知識も増え、元気になる」「ふらっと寄って病院では聞きにくい事も教えてくれる」など、様々な声を頂いています。



夏休み寺子屋教室

#### 病後児保育室「えがお」

病気の回復期にあり、保育園・幼稚園・小学校に通わせることができない子供を専用施設で一時保育することにより、子育て世帯の育児と仕事の両立を応援します。



自治会・まちかど保健室共催「流しそうめん」



病後児保育



シニアカーによる移動支援



# 豊明団地 「けやきいきいきプロジェクト」

## 取組み事例②

### けやきテラス

既存の集会所棟を改修し、これまでの集会所としてだけでなく、医療・介護に関する多様な機能を付加し、「けやきテラス」として、リニューアルしました。

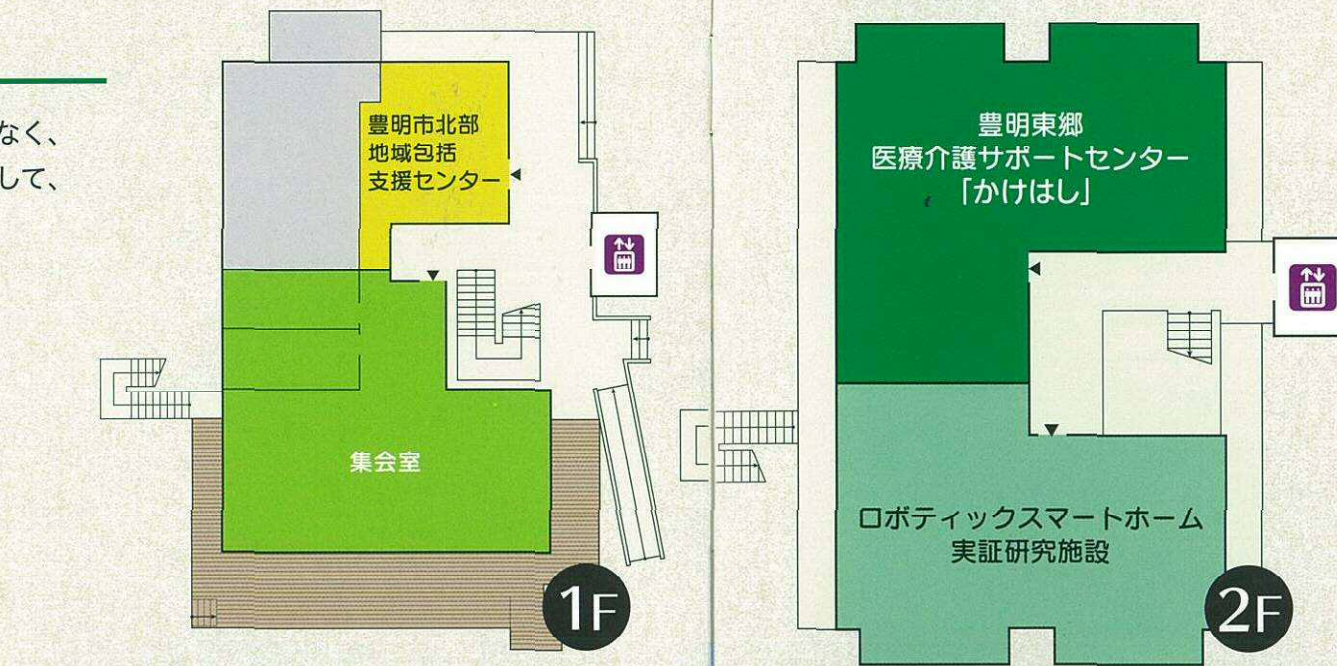
#### ロボティックスマートホーム (RSH)

##### 「自宅で暮らし続けたい」をかなえる

長寿社会では、高齢夫婦や高齢者一人の暮らしが標準です。そのため、長寿生活を支える住まいの工夫が必要です。藤田保健衛生大学は、ロボットと住まいの合体「ロボティックスマートホーム(RSH)」を提案します。ロボティックスマートホームを実体験いただき、是非ご意見・ご感想をお聞かせください。

##### 【導入される主なロボット】

歩行支援ロボット、移乗支援ロボット  
生活支援ロボット、健康チェックイ  
遠隔コミュニケーションテレビ など



★外へ広がるテラス  
★エレベーターを完備



#### 集会所

##### 集会所をリニューアル

新たに屋外テラス・キッチンを設置し、利用の幅が大きく広がりました。子供から高齢者まで、豊明団地にお住まいのみなさまの交流の拠点として、様々なイベントにお使い頂けます。



#### 豊明東郷医療介護サポートセンター「かけはし」



##### 在宅医療・介護の相談

豊明市と東郷町にお住まいの方の在宅医療・介護情報、周辺病院や施設から自宅へ退院時のご相談、通院困難時の訪問診療や在宅看取りなどのご相談に対応します。

- ①市内外の在宅医療介護の情報提供
- ②在宅医療介護等人材育成研修
- ③医療・介護連携課題の評価及び調査研究
- ④行政、地域包括支援センター、医療・介護機関や専門職団体等の支援や連絡調整、情報交換
- ⑤退院退所時における在宅療養の導入支援、外来通院困難時の訪問医療・介護等導入支援、在宅看取り等の相談支援



#### 地域包括支援センター 豊明団地出張所

##### 身近な総合相談窓口

豊明団地や周辺にお住まいの高齢者やそのご家族、ご近所の方からの身近な総合相談窓口として、介護・生活に関する困りごとなど、さまざまにご相談に対応します。